

教育要覧 2024

大館市の教育



令和5年度 東北六縣市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会



子どもサミット代表会議

大館市教育委員会

まちや暮らしのなかで市民が

【教育大綱】

基本理念

ふるさとに学び
未来を創造できる
「人財」の育成

基本目標

信頼と安全を築く教育環境の整備充実

ふるさとを担う「未来大館市民」を
育成する学校教育の深化

ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習
の推進と支援

郷土の歴史と文化を学び、大館びとの
誇りを醸成する

活躍し、次代を育む“教育文化都市”

基本目標:信頼と安全を築く教育環境の整備充実

重点施策	担当部署
1 安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る 2 豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実を図る 3 大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信に努める	教育総務課

基本目標:ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化

重点施策	担当部署
1 ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める 2 大館教育を起点として、社会、全国、世界との架け橋を構築する 3 学校と地域が織りなす教育活動の充実を図る 4 児童・生徒が教育パートナーとして支え合い、「おおだて型授業(響学)」の質を更に高める 5 学習指導要領に対応した教育環境や基盤の整備を推進する	学校教育課 教育研究所

基本目標:ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援

重点施策	担当部署
1 ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める 2 市民版ふるさとキャリア教育を推進し、社会人の学び直しを支援する 3 「未来大館市民」を育成するため、地域とのつながりを生かした活動の充実を図る 4 高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する 5 「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する 6 「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める 7 伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する	生涯学習課 中央公民館 地区公民館

基本目標:郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する

重点施策	担当部署
1 大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する 2 郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する 3 文化財の保護と調査を進め、未来に伝える 4 歴史的風致維持向上計画に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める	歴史文化課

目 次

大館市の教育大綱

教育委員会	1
-------	---

第1編 教育行財政

大館市の概況	2
教育予算	3
教育委員会の機構	5
事務局職員	6
各施設職員	7

第2編 生涯学習

令和6年度大館市生涯学習推進計画	8
------------------	---

第3編 学校教育

学校教育の基本方針	1 2
学校の概要	1 5
学校施設等の概要	1 6
教育研究所	2 2
教育研究会	2 4
大館市立小学校・中学校所在地	2 6

第4編 保健・給食

学校保健	2 8
学校給食	2 9

第5編 社会教育

令和6年度大館市社会教育推進計画	3 0
社会教育施設一覧・利用状況	3 2
各施設の概要	3 9
社会教育関係団体とその活動	5 7
社会教育施設所在地	5 8

第6編 文化財・芸術文化

文化財保護の概要	6 0
芸術文化振興の概要	6 0
各施設の概要	6 1
指定文化財一覧	6 9
登録文化財	7 0
名園・名木一覧	7 0
芸術文化、文化財保護関係団体	7 1

第7編 資料

各種委員名簿	7 2
大館市生涯学習推進要綱	7 8
大館市生涯学習推進本部体制	8 1

教 育 委 員 会

1 . 事 務 局

〒018-3595 秋田県大館市早口字上野4番地1(田代総合支所内)

- ・教育総務課 (TEL) 0186-43-7111 (FAX) 0186-54-6100
- ・学校教育課 (TEL) 0186-43-7112 (FAX) 0186-54-6100
- ・生涯学習課 (TEL) 0186-43-7113 (FAX) 0186-54-6100

〒017-0012 秋田県大館市釈迦内字獅子ヶ森1番地(大館郷土博物館内)

- ・歴史文化課 (TEL) 0186-43-7133 (FAX) 0186-48-2512

2 . 教 育 長 ・ 教 育 委 員

職 名	氏 名	委員等歴	摘 要
教 育 長	高 橋 善 之	H22. 4. 1 R 7. 3.31	
委 員	山 田 和 人	H26. 3.24 R 8. 3.23	教育長職務代理者
委 員	根 田 穂美子	H20.12.25 R 6.12.24	
委 員	工 藤 啓 子	R 2. 4. 1 R10. 3.31	
委 員	小笠原 正 卓	H28.12.25 R 8.12.24	



教育長
高橋 善之



教育長職務代理者
山田 和人



委 員
根田 穂美子



委 員
工藤 啓子



委 員
小笠原 正卓

第1編 教育行財政

大館市の概況



南種子町児童交流事業

大館市は、秋田・青森・岩手3県の北東北の中心部に位置し、古くから天然秋田杉をはじめとする豊かな自然に恵まれ、農林業や鉱業とともに伝統工芸や文化的遺産など豊富な資源を有し、栄えてきました。新たなまちづくりとして、「匠と歴史を伝承し、多様性を力に変えていく未来創造都市」をコンセプトに、大館市の「これから」をとともに切り拓いていくため、「おおだて未来づくりプラン」を策定し、戦略的なまちづくりを目指しています。

教育・人財・文化の分野においては、「こども・おとながともに学び合うひとづくり」を戦略に、ふるさとキャリア教育で培った「未来大館市民」の継承や人生100年時代に対応した学びの環境と生きがいの場の提供、さらに、将来のふるさと大館を担う子どもたちに世界への架け橋をつくり、市民の夢と成長を支えるまちを目指しています。

人口及び面積

(令和6年5月末日現在)

人口 (人)	世帯 (世帯)	面積 (k m ²)	人口密度 (人/k m ²)
66,088	31,289	913.22	72.37

市制施行年月日

昭和26年4月1日

市三役

市長 福原 淳 嗣
副市長 北林 武彦
教育長 高橋 善之

市議会議長及び副議長

議長 武田 晋
副議長 石垣 博隆

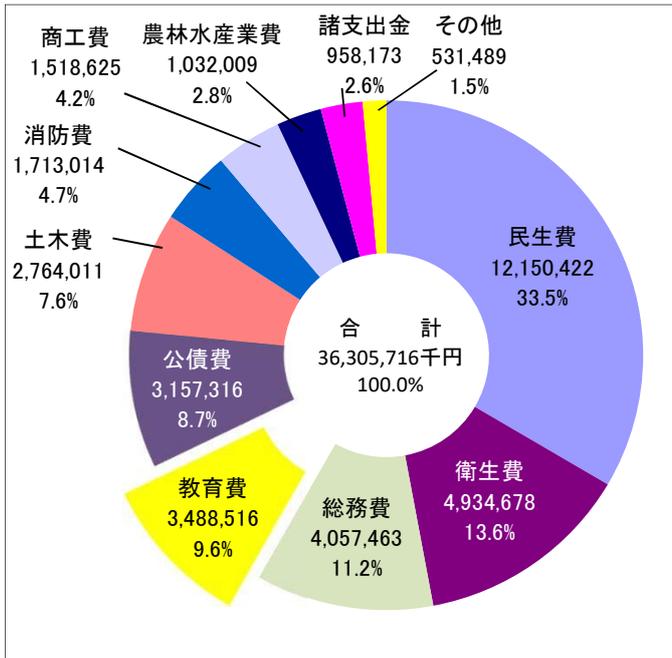
教 育 予 算

令和6年度 予算の内訳（当初予算ベース）

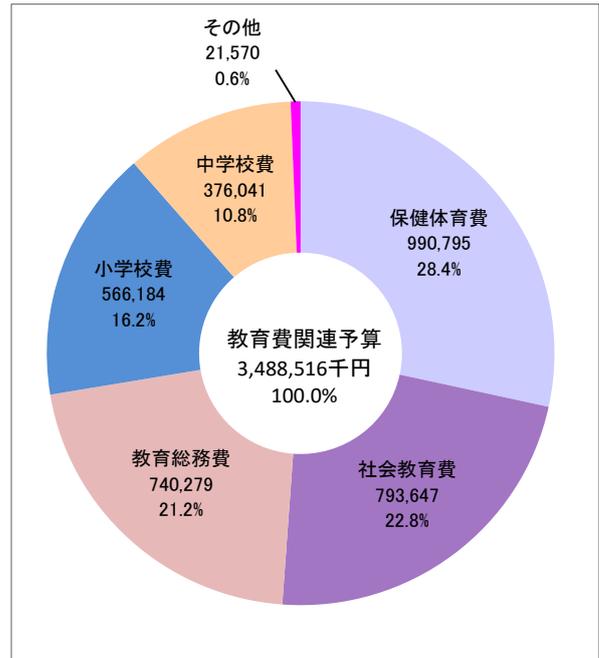
（単位：千円）

項 目	予 算 額	項 目	予 算 額
1．教育総務費	740,279	(12) あやめ苑管理費	236
(1) 教育委員会費	2,888	(13) 郷土博物館費	99,881
(2) 事務局費	394,926	(14) 交流センター費	11,888
(3) 教育助成費	8,748	5．保健体育費	990,795
(4) 義務教育研修費	1,116	(1) 保健体育総務費	415,055
(5) 学務費	74,954	(2) 体育施設維持及び改良費	165,800
(6) 特別支援学級費	1,097	(3) 給食管理費	355,653
(7) 教育施設整備基金費	2	(4) 給食施設維持及び改良費	54,287
(8) 教育研究所費	47,591		
(9) 交流文化事業費	7,777		
(10) 文化会館管理費	82,888	教育費合計	3,466,946
(11) 文化会館維持及び改良費	862		
(12) 樹海ドームパーク管理費	115,963		
(13) 樹海ドームパーク維持及び改良費	1,467	6．北地区コミュニティセンター費	21,570
2．小学校費	566,184		
(1) 学校管理費	360,732		
(2) 教育振興費	107,022		
(3) 施設維持及び改良費	98,430		
3．中学校費	376,041	教育関係予算合計	3,488,516
(1) 学校管理費	262,993		
(2) 教育振興費	71,710		
(3) 施設維持及び改良費	41,338		
4．社会教育費	793,647		
(1) 社会教育総務費	60,035		
(2) 公民館費	170,269		
(3) 公民館事業費	13,805		
(4) 施設維持及び改良費	110,391		
(5) 図書館費	85,364		
(6) 文化費	38,017		
(7) 青少年健全育成費	667		
(8) 生涯学習費	1,709		
(9) 児童育成費	189,017		
(10) 鳥潟会館費	7,591		
(11) 少年相談センター費	4,777		

令和6年度一般会計歳出予算



教育費予算内訳



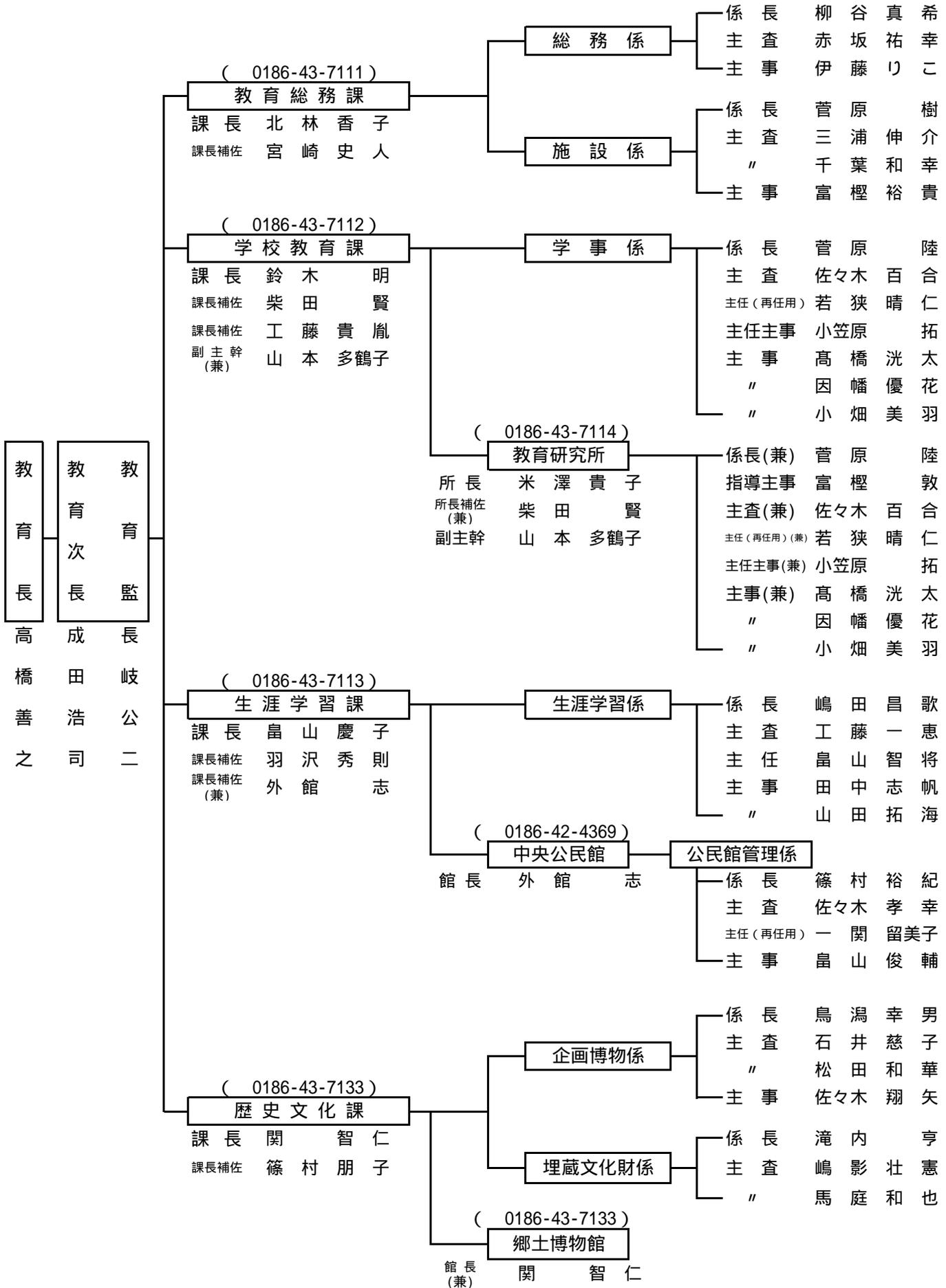
(労働費のうち、北地区コミュニティセンター費は教育費に算入し、その他として分類)

令和6年度重点施策(教育費)

(単位:千円)

事業名	事業費	内容
おおだて型教育発信事業	10,322	地域おこし協力隊活用事業
ふるさとキャリア教育夢事業	8,910	
幼保小の架け橋プログラム事業	6,985	
小学校創立150周年記念事業	5,433	
GIGAスクール推進事業	35,535	
学校図書整備事業	3,770	
小学校英語教育推進事業	4,409	
育ちと学び支援事業	2,642	
スクールカウンセラー配置事業	4,859	
語学指導助手(ALT) 5人	21,087	
部活動指導員配置事業	4,145	
特別支援教育支援員派遣事業	80,368	
曲げわっぱ学校給食活用事業	1,622	全小学校4~6年生
学校給食費物価高騰対策補助金	21,829	
小・中学校改修工事費	31,037	小学校17校、中学校8校
小・中学校スクールバス事業	97,952	南小、矢立小、西館小、東館小、早口小、山瀬小、長木小、東中、比内中、田代中、北陽中
大館学び大学事業	6,069	
放課後児童健全育成事業	174,955	
市民文化会館管理運営	82,786	指定管理
図書館管理運営	85,364	指定管理
奨学資金貸付金	15,360	特別会計予算

事務局職員 (令和6年4月1日現在)



各 施 設 職 員

釈迦内公民館 (0186-43-7117)

館 長 (非常勤) 日 景 省 蔵
主 任 (再任用・併任) 佐々木 金 義
主任主事 齋 藤 拓 海

田代公民館 (0186-43-7126)

館 長 (非常勤) 伊 藤 康 栄
係 長 田 村 諭
会計年度任用職員 成 田 恵 子

長木公民館 (0186-43-7118)

館 長 (非常勤) 石 田 晴 子
主 任 (再任用・併任) 武 田 吉 輝
主任主事 桂 田 岳

市民交流センター (0186-49-7028)

館 長 (兼務) 外 館 志
会計年度任用職員 河 田 美智子
" 小 濱 朗 子
" 島 内 美佳子
" 長 崎 恵 美

上川沿公民館 (0186-42-0836)

館 長 (非常勤) 戸 田 孝 彦
主 任 (再任用・併任) 三 澤 明日子

郷土博物館 (0186-43-7133)

館 長 (兼務) 関 智 仁
会計年度任用職員 荒 谷 由季子
" 明 石 万太郎
" 熊 谷 星 野

下川沿公民館 (0186-49-0271)

館 長 (非常勤) 佐 藤 眞 人
係 長 (併任) 小 林 聖 一

秋田三鶏記念館 (0186-43-7133)

会計年度任用職員 山 内 常 代
" 戸 館 隆
" 武 田 賢 作
" 白 川 千工子

真中公民館 (0186-49-5928)

館 長 (非常勤) 五十嵐 芳 子
係 長 (併任) 佐 藤 竜 哉

二井田公民館 (0186-49-4121)

館 長 (非常勤) 松 田 誠 行
主 査 (併任) 長 崎 浩

長走風穴館 (0186-51-2005)

会計年度任用職員 虻 川 嘉 久
" 秦 武 志
" 松 山 伸 人

十二所公民館 (0186-43-7123)

館 長 (非常勤) 吉 成 眞
係 長 (併任) 渡 部 甚 弘

鳥潟会館 (0186-46-1009)

会計年度任用職員 一町田 久美子
" 山 内 常 代
" 笹 島 真理子
" 川 田 光 彦
" 虻 川 嘉 久

花岡公民館 (0186-43-7124)

館 長 (非常勤) 伊 勢 善 和
係 長 (併任) 岩 谷 憲 昭

矢立公民館 (0186-43-7125)

館 長 (非常勤) 若 松 俊 一
係 長 (併任) 山 内 浩 樹

少年相談センター (0186-42-0769)

会計年度任用職員 (相談専門員兼所長) 高 橋 秀 一
会計年度任用職員 (少年指導・相談員) 櫻 庭 博 子

比内公民館 (0186-43-7141)

館 長 (非常勤) 若 宮 司
係 長 根 本 貢
会計年度任用職員 小 玉 紀菜美
" 佐 藤 美 子

第2編 生涯学習

令和6年度大館市生涯学習推進計画

教育基本法第3条（生涯学習の理念）

平成18年12月

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

1. 生涯学習推進方針

今日の社会を取り巻く情勢は、人口減少・少子高齢化、社会構造の複雑化、高度情報化社会の進展などにより大きく変化しています。

このような状況の中、年齢、性別、人種、障がいを超えて多様性を受け入れ、誰もが社会にとって大切な存在として、一人ひとりの個性と能力が発揮できる地域づくりを進め、人生100年時代を見据えた、少数精鋭のまちづくりを目指した生涯学習の推進が求められています。

政府が令和5年度に策定した第4期教育振興基本計画では、コンセプトの一つに「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を掲げており、「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環が生み出されることによって、地域コミュニティにおける個人と地域全体のウェルビーイングの向上がもたらされるとしています。

また、本市の新たな最上位計画である「おおだて未来づくりプラン」では、第2次新大館市総合計画の基本理念「大館の未来を紡む物語づくり」を継承し、「ひと」、「暮らし」、「まち」が相互に関わり合いながら、本市の未来につながるものがたりづくり（歴史）をつくることを目指すべき姿のもととなる価値観として位置付け、将来のふるさと大館を担う「未来大館市民」の育成に向け、「子どもたちに世界への架け橋をつくる」ことを目指すとしています。

これらを踏まえ、新たに策定した第8次大館市社会教育中期計画では、第7次大館市社会教育中期計画の施策を継続しつつ、さらなる充実を図りながら、「地域に根ざしたウェルビーイングの向上」を目指して、「ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援」を基本目標とし、生涯学習を推進するものです。

2. 生涯学習推進のための中期的な環境整備施策

生涯学習を推進するため、社会教育関係部局及び関係機関が実施する、中期的な環境整備計画を設定します。

[1] 生涯学習推進体制の整備

- (1) 生涯学習推進機関のネットワーク化
- (2) 生涯学習奨励員活動の促進
- (3) 出前講座実施に向けた体制の整備
- (4) 「まなびピア in おおだて」生涯学習フェスティバルの開催
- (5) 「知の循環型社会」実現のための環境整備
- (6) 大館学び大学事業の展開
- (7) 障がい者のための生涯学習の推進
- (8) 生涯学習情報の提供

- [2] 社会教育施設の整備と拡充
 - (1) 学習施設機関の窓口への資料整備
 - (2) 既存社会教育関連施設の整備状況点検
 - (3) 木育事業の充実

3 . 令和 6 年度生涯学習推進本部の施策と事業

- [1] 生涯学習推進機関のネットワーク化
 - (1) ネットワーク会議を通じた推進体制の強化
 - 生涯学習推進協議会を通じた関係機関・団体との推進連携強化
 - 生涯学習推進本部幹事会における推進体制の整備と強化
 - 学社連携事業の推進
- [2] 生涯学習奨励員活動の促進
 - (1) 市単独研修会の実施、県及び北鹿地区の研修会等への派遣
 - (2) 地域内の奨励活動の充実
 - (3) 生涯学習奨励員の地域外活動促進
- [3] 生涯学習事業の推進
 - (1) 生涯学習関連事業の展開
 - (2) 出前講座メニューの拡大
 - (3) 市民に対する出前講座の提供及び対応強化
 - (4) 大館学び大学事業の展開
 - (5) 木育事業の実施
 - (6) 障がい者のための生涯学習の推進

4 . 令和 6 年度の主な事業内容

- [1] 「まなびピア in おおだて 2 0 2 4 」生涯学習フェスティバルの開催

期 間	生涯学習強調月間	令和 6 年 9 月 ~ 1 0 月
	メイン開催日	令和 6 年 9 月 2 8 日 (土) ~ 2 9 日 (日)
事業予定	中央公民館サークルまつり (サークル作品展)	
	「みんなの木育ひろば」	
	大館桂桜高等学校わくわく体験コーナー	
	大館地区発明くふう展	
	(一財) 大館市文教振興事業団協賛事業 (ほくしか鹿鳴ホール、栗盛記念図書館)	
	市民交流センター (旧女性センター) まつり ほか	
- [2] 大館市出前講座の開催
 - 講座メニュー
 - 「ワンだふるはちくんダンス講座 (初級・上級編) 」 「もしものための救命講座」 「大館市の防災 (防災基礎講座) 」 「ポッチャ体験」 「ふるさと歴史講座 (羽州街道について) 」 「木育を体験しよう」

[3] 大学公開講座、大学校公開市民講座 2024 の開催

大学公開講座 令和6年7月2日(火)・3日(水)・4日(木) 秋田看護福祉大学
大学校公開市民講座 2024 令和6年9月30日(月)・10月2日(水)・4日(金)
秋田職業能力開発短期大学校

[4] 「大館ふるさとカルタ」の普及とカルタ大会の開催

平成29年度に作成した「大館ふるさとカルタ」を普及させるとともに、カルタ大会を開催することにより、カルタの読み札や絵札を通して、ふるさとの歴史を学び、郷土愛を育む機会を作る。
また、カルタ大会の運営に高校生ボランティアを募り、審判・読み手の育成も図る。

[5] 障がい者のための生涯学習の推進

比内支援学校及び障がい者施設との連携により、生涯学習講座を開催し、障がい者にとって、自らが望む生涯学習活動や余暇の充実を図る活動を、合理的配慮を受けながら行える共生社会実現への実践研究を継続する。



大学校公開市民講座



大館ふるさとカルタ



障がい者の生涯学習

第3編 学校教育

1. 学校教育の基本方針

(1) 小・中学校教育 推進目標と指導の重点

『ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化』

- 1 ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人材の育成に努める。
 - (1) 大館の未来を切り拓くための総合的人間力(「人間的基礎力」「大館市民基礎力」「大館市民実践力」)の育成
 - (2) 基本的な生活習慣を身に付け、自律した行動ができる児童生徒の育成
 - (3) 基本的な学習習慣の確立と学ぶことの意義の浸透
 - (4) 児童生徒一人一人が自己肯定感・有用感をもって生活できる集団づくり
 - (5) 運動の習慣化、日常化の確立と充実した食育による健康の保持増進
 - (6) いじめ・不登校問題の予防及びその克服のための支援体制の充実
 - (7) 全教職員と関係機関のネットワークで支援する特別支援教育の推進
 - (8) 「主体的実践力」強化の観点から、ふるさとキャリア教育の深化
- 2 大館教育を起点として、社会、全国、世界との架け橋を構築する
 - (1) 教育ツーリズムによる「本質を追い求める教員が集う街」の実現
 - (2) ふるさとの価値を多面的かつ広域的に捉える機会の充実
- 3 学校と地域が織りなす教育活動の充実を図る
 - (1) 就学前教育及び中等・高等教育とのつながりを重視した「教育の縦の基軸」の強化
 - (2) 地域住民や民間企業等との連携等「教育の横の基軸」を生かしたスクール・コミュニティの形成
- 4 児童・生徒が教育パートナーとして支え合い、「おおだて型授業(響学)」の質を更に高める
 - (1) 児童・生徒主体で、進行・展開していく「おおだて型授業(響学)」の推進
 - (2) 各校の研究実践を県内外に発信・交流することによる評価及び改善
 - (3) 幼保・小・中・高・大連携や学校間交流による実践研究
 - (4) 地域の学習材等、教育資源を活用した授業や教育活動の開発
 - (5) 教育専門監、授業マイスター等を活用した実践的研修の活性化
 - (6) 「おおだて型授業(響学)」の実効性を高めるツールとして、ICTを効果的に活用
- 5 学習指導要領に対応した教育環境や基盤の整備を推進する
 - (1) 未来大館市民としての資質・能力を育成するための体制を構築
 - (2) 学校と行政の連携により、個性や特性が発揮できる教育環境や教職員の職場環境を整備

(2) 就学前教育 推進目標と指導の重点

『豊かな生活体験を通して、人間的基礎力を育む就学前教育の推進』

架け橋期に期待する子どもの姿

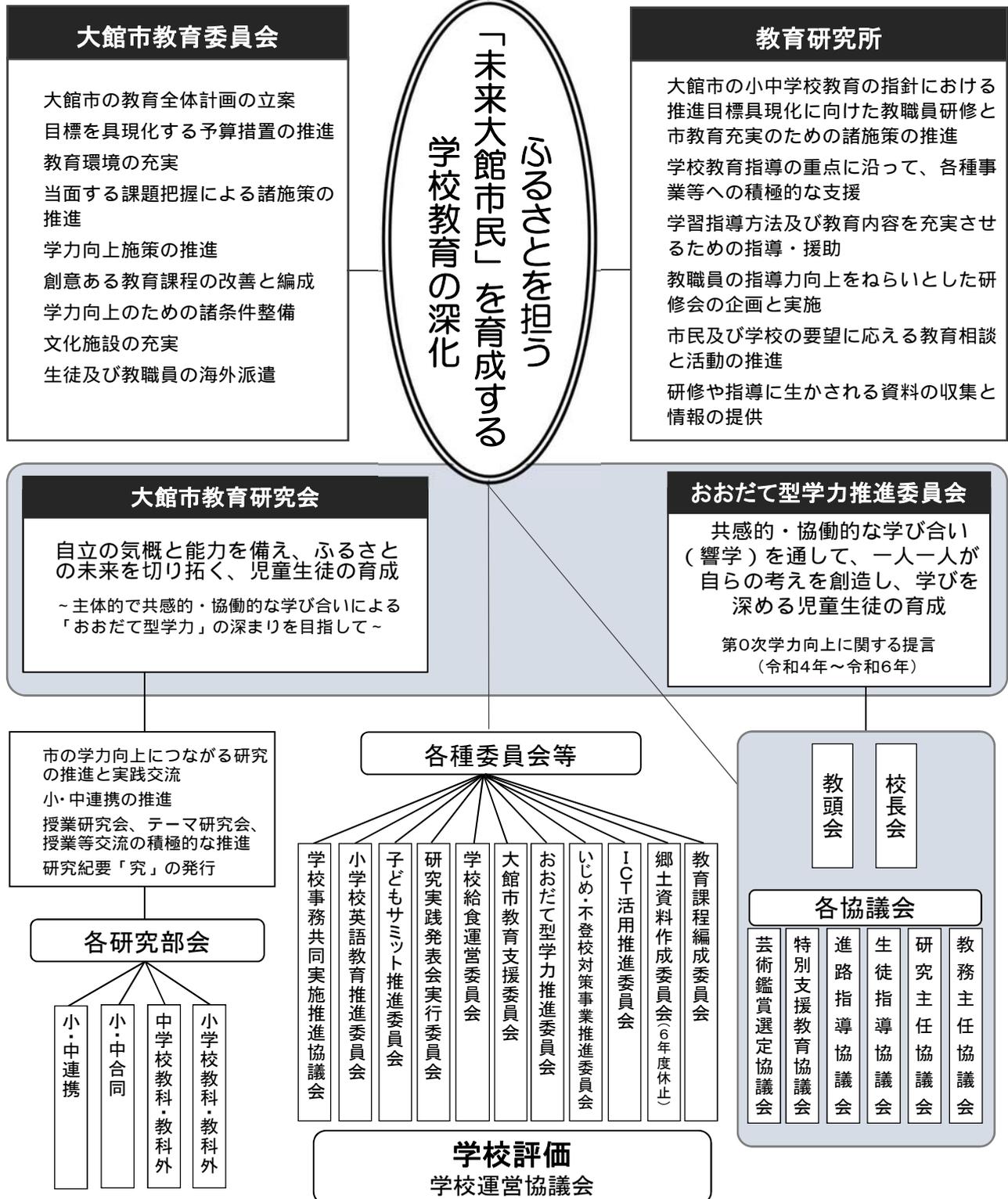
周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間とともに育ち合う子ども

- 1 主体的に環境にかかわり、遊びや生活を通して総合的に発達していく過程を大切にしながら指導に努める。
 - (1) 基本的な生活習慣や態度の形成
 - (2) 一人一人の特性に応じ、発達課題に即した指導の充実
 - (3) 人と関わる力や思考力、想像力や表現力を育む環境の構成
 - (4) 地域との関わりの中で、充実感や達成感が味わえる多様な体験の充実
 - (5) 友達と協同する経験や規範意識を身に付けていくクラスづくり
 - (6) 運動習慣の形成や食育など健康な生活リズムづくりへの取組
- 2 地域社会に開かれた信頼される園づくりを推進する。
 - (1) 学校評価・外部評価の実施、結果の公表と活用
 - (2) 「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が示すところから創意工夫ある教育課程の編成・全体的な計画の作成
 - (3) 全職員で取り組む特別支援教育の園内体制の確立
 - (4) 保護者との信頼関係を基盤にした子育て支援の推進
 - (5) 地域や家庭とともに子どもを育てる環境づくり
- 3 実践的指導力を高める教職員研修を推進する。
 - (1) 園内研究体制の確立と自園の研究主題に向けた保育の実践
 - (2) 小学校教育との円滑な接続のための連携の推進
 - (3) 今日的な課題に対応するための研修の充実

(3) 大館市学校教育推進全体構想

学校教育指導の重点

- 1 ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める
- 2 大館教育を起点として、社会、全国、世界との架け橋を構築する
- 3 学校と地域が織りなす教育活動の充実を図る
- 4 児童・生徒が教育パートナーとして支え合い、「おおだて型授業(響学)」の質をさらに高める
- 5 学習指導要領に対応した教育環境や基盤の整備を推進する



(4) 指導の重点と関連する施策及び事業

ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化

1 ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める

第0次学力向上施策(提言)の中間評価
 <共通目標>
 共感的・協働的な学び合い(響学)を通して、一人一人が自らの考えを創造し、学びを深める児童生徒の育成
 県学習状況調査の分析と改善に向けた対策
 学校訪問(算数数学・生活・理科・外国語活動・外国語・生徒指導等・幼保小連携交流)
 教育委員学校訪問
 小学校外国語活動支援員派遣(小)
 ALT派遣(中)
 適応指導大館おとり教室事業
 いじめ・不登校対策事業
 (子育て相談会・講話、ふれあいお楽しみ会)
 臨床心理士の配置

県スクールカウンセラー配置事業(全中学校)
 大館市スクールカウンセラー訪問事業
 教育支援委員会
 通級指導教室(桂城小・扇田小・釈迦内小・一中)
 特別支援教育地域センター(桂城小)
 幼児通級指導教室「育ちの教室ぐんぐん」
 教育支援員の配置
 (小学校45名、中学校6名、おとり教室1名)
 子どもハローワークの運営
 子どもサミット活動
 (ペットボトルキャップ、こでん回収、ロス削減活動、あいさつ運動、メディアコントロールに関わる活動)
 未来人財プロジェクト
 ふるさとキャリア教育作品コンクール

2 大館教育を起点として、社会、全国、世界との架け橋を構築する

教育ツーリズムを通して、参集を希望する志ある全国の教員が、あるべき教育の姿を語り合う場を設定
 他市町等との交流による授業マイスター等教員の派遣
 教育アテンダントの配置
 子どもサミット活動(あいさつ運動、釜石市児童生徒会「かまいし絆会議」との交流)
 中学生海外研修派遣事業
 交流事業(南種子町、常陸大宮)
 他課所による児童生徒派遣事業等との連携

3 学校と地域が織りなす教育活動の充実を図る

幼保小連携関係事業
 (わか杉っ子!育ちと学びステップアップ事業)
 (幼保小の架け橋プログラム)
 百花繚乱作戦
 ふるさとキャリア教育夢事業
 ふるさとキャリア教育ステップアップ事業
 キャリア教育コーディネーターの配置
 スクールガード・リーダー巡回指導
 地域学校協働本部事業
 地域防災活動
 指導主事はちくんの派遣
 登下校防犯プラン推進会議
 子供110番の家
 大館未来型コミュニティ・スクールの構築と推進
 学校・家庭・地域との連携・協働の促進

4 児童・生徒が教育パートナーとして支え合い、「おおだて型授業(響学)」の質を更に高める

おおだて型学力推進委員会
 大館市教育研究会(小中合同部会)
 教職員研究実践発表会
 夏季研修会・ICT活用研修講座
 初任者研修・講師研修会
 市内諸施設・企業等見学会及び研修会(兼大館市初任者研修)
 小学校英語教育推進委員会
 小学校英語教育推進アドバイザーの配置
 小学校外国語活動支援員研修会
 授業マイスター認定制度・チャレンジ授業賞・ふるさと授業賞
 授業力向上支援研修
 ICT活用推進委員会
 ICT支援員の配置

2. 学校の概要 (R6.5.1現在)

(1) 児童生徒数・学級数

小学校

学 年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	特別支 援学級	合 計
学級数	20	20	19	21	20	21	30	151
児童数	365	393	386	393	408	439		2,384

1学年の学級数には1・2学年の複式学級1学級を含む。

2学年の学級数には2・3学年の複式学級2学級を含む。

3学年の学級数には3・4学年の複式学級1学級を含む。

中学校

学 年	1 学年	2 学年	3 学年	特別支 援学級	合 計
学級数	17	17	18	16	68
生徒数	420	436	455		1,311

(2) 教職員数

校種別	教 職 員								市職員(会計年度任用職員含む)						合 計
	校 長	教 頭	教 諭	講 師	養 護 教 諭	栄 養 職 員	事 務 職 員	小 計	校 務 主 事	栄 養 職 員	調 理 技 師	教 育 支 援 員	そ の 他 職 員	小 計	
小学校	17	17	178	12	19	4	19	266	35	2	10	45	11	103	369
中学校	8	8	107	22	9	3	9	166	19	0	0	6	7	32	198
合計	25	25	285	34	28	7	28	432	54	2	10	51	18	135	567

(3) 病院学級

校種別	児童・生徒数	教員数
小学校	0	0
中学校	0	0
合計	0	0

(4) 通級教室

校種別	学級数	児童・ 生徒数	教員数
小学校	4	54	4
中学校	1	17	1
合計	5	71	5

3. 学校施設等の概要

(1) 小学校

校 名	校 長 名	学 校 の 特 色
桂 城 小	浅野 直子	桂城(かつらじょう)の名を受け継ぐ本校は、桂城未来科のテーマを今年度も「つなげよう わが町 桂城 城下町」～自覚と誇りをもち行動する桂城っ子～と決めました。城下町を中心に歴史と伝統を学び、地域貢献活動に取り組み、未来に向けて桂城っ子の笑顔と元気を発信します。また桂城っ子は、全員の手が挙がる「チャレンジタイム」と、考えを広げ深める「チェンジタイム」で共感的・協働的な学び合いを目指します。創立150周年を迎える今年度、自信と誇りをもって、学校教育目標である「未来を拓く、心豊かで自立した子どもの育成」に取り組みます。
城 南 小	花田 千鶴	今年も合言葉は「Nice Tryでつながる・高まる!」。元気で明るい挨拶と、児童が主体的に課題解決に向かう「シンカタイム」を組み込んだ学習に取り組んでいます。また、県の「ICTを活用した授業改善支援事業」は昨年度で3カ年の事業を終了しましたが、今年度も継続してICT活用の研究を進めています。毎年大好評、6年生手作りの「ふるさとCM」をはじめとするプロジェクト」。全学年で取り組み、ふるさと、未来のつくり手となる力を育てています。城南っ子と職員とともに、Nice Tryで創立150周年目の歩みをつないでいきます!
城 西 小	川崎 郁子	県内初のコミュニティ・スクールに指定されて18年目。「チーム城西 とともに光りかがやく」の学校教育目標の下、「Be Happy!大作戦」～みんなで幸せになろう～に取り組み、一人一人がBestを尽くし、everyone(みんな)の幸せを目指しています。「ありがとう」で学校と地域を幸せにする活動を重ね、地域の「弥栄」を目指します。そのためにまずは城西YES!と行動すること、そして行動で得られる「感動・納得・感謝」を感じながら歩みを進めていきます。
有 浦 小	野呂 謙一	教育目標「大館を愛し、次代を担う、“気づき、考え、行動できる”子どもの育成」のもと、物事を「自分ごと」として捉える「有浦っ子プライド」を御旗として、「学ぶ力」「自制力」「パートナー力」「コミュニケーション力」の4つの資質・能力の育成を重点に据えて教育活動を展開し、未来大館市民の育成を目指します。
釈 迦 内 小	佐藤 潔	子どもたちが自ら考案したキャラクター「向陽戦隊さくらンジャー」となり、桜三心「美しい心・挑戦の心・前向きな心」、向陽三行「創る、かかわる、やり遂げる」を胸にがんばっています。また、看板事業である今年度の釈迦内サンフラワープロジェクトは、「絆を深め 咲かせよう笑顔 最高の未来へ」をテーマに、地域と関わり絆を深め、ひまわりを県内はもとより国外にも広めるとともに、模擬会社「サンフラワープロジェクトカンパニー」を立ち上げ、創立150周年を記念した新商品を開発するなどして、地域に貢献できる活動を進めていきます。
長 木 小	中井 淳	令和5年度から「子ども、保護者、教師、地域 みんながパートナー」という教育理念を掲げました。児童が自分たちで考えてやってみたいことを企画する児童会活動、エゾタンポポの保護活動に加え、八チドーム前の旧駅舎周辺をあじさいで埋め尽くす「岱野駅前PJ」への参入、保護者の有志で結成されたエゾポッポくらぶの活動の推進など、長木小が「Well-beingな学校」であり続けるための活動を開始しています。これらの活動を通して、伝統の鳳凰太鼓の響きのように、力強くたくましい子どもの育成を目指しています。
川 口 小	津幡 治久	半径200m程の円内に保育所、小学校、中学校、公民館、駐在所が収まり、駅、バス停も目の前。抜群の立地条件を生かし、地域貢献・交流活動「プロジェクトK」によって、全校児童が地域に元気と笑顔を発信しています。小林多喜二や重右衛門堰、川口獅子踊り等の歴史をひもときながら、ネギの栽培・販売や、ねぎ1グランプリに取り組む姿はまさに未来大館市民そのもの。リサイクルステーション「リサイくるりん」を活用して、家庭・地域とともにSDGsの学びを深めます。
上 川 沿 小	藤嶋 俊英	秋田杉のぬくもりに包まれた校舎で、本校のシンボルツリーであるニュートンの木をモチーフにしたイメージキャラクター「ハートさん」「カッシーさん」「ニュートンさん」を目指し、学習やスポーツに励んでいます。また、学区に位置する果樹園や校地のそばにある学校田では、子どもたちの夢や希望を育む活動「とびっきりの上川沿」を展開しています。保護者や地域の方々とともに「笑顔とあたたかさのある学校」「一人一人が大切にされる学校」「地域とともにある学校」づくりに取り組んでいます。
成 章 小	一関 光	成章書院の歴史と伝統を受け継ぐ成章っ子は「チャレンジ!プラス1」を合言葉に、「地域と関わる子・学びを深める子・心のみがく子・体をきたえる子」を目指して、学習や活動に励んでいます。学習リーダーやミニ先生が活躍する主体的な学び、枝豆を栽培し商品化を行う「12th 成章かがやきプロジェクト」、小・中学校合同の花ボランティア・奉仕活動・あいさつ運動・メディアコントロール、地域の病院や施設への「元気応援ボード」の贈呈。今年度も成章っ子は、地域に学び、地域に笑顔と元気を届けます。

(R6.5.1現在)

児童数	学級数	教職員数	校地(m ²)	校舎(m ²)	開校年月日	所在地 ・ 電話番号
241	12	23	38,589.54	6,844.70	M 7 .4.24	大館市水門町1-12 0186-42-2262
298	13	22	14,675.01	7,122.64	M 7 .4.24	大館市字桜町9 0186-42-3025
253	12	19	21,509.00	6,379.07	(統合) S 33. 9.30	大館市城西町8-1 0186-42-3238
468	20	31	28,870.00	6,927.47	S 17. 6.15	大館市有浦四丁目6-55 0186-42-2834
169	10	18	29,397.11	7,345.10	M 7. 6.26	大館市釈迦内字相染台24 0186-48-2934
149	8	16	23,711.40	4,692.04	M 10. 1.15	大館市上代野字八幡岱45 0186-48-5158
85	9	15	18,717.00	5,128.80	M 7.10.21	大館市川口字隼人岱108-68 0186-42-9762
117	8	14	28,574.63	4,614.04	M 12.11. 2	大館市餌釣字前田75 0186-49-6155
61	8	15	30,660.33	5,568.56	M 7. 5.27	大館市十二所字大平190 0186-52-2818

校 名	校 長 名	学 校 の 特 色
花 岡 小	虻川 麻里子	創立150周年を迎える、記念YEARも「勇気・つながり・チャレンジ～一人一人が真剣勝負～」を児童会テーマとし、ふるさとキャリア教育を中心に全ての教育活動で課題対応能力の育成に努めています。「花岡チャレンジ活動」＝「花岡PR動画大作戦!」「花岡2024 花小まつり運動会編、学習発表会編」「チャレンジよさこいソーラン」等、子ども主体の取組を進めています。さらに、自ら課題を設定し、学び合いを通して解決しまとめていくというチャレンジ授業への取り組みも11年目を迎え、学びあいを楽しみ・広げ・深める子どもの育成を図っています。
矢 立 小	樋口 慎一	校名の由来となった矢立杉林のように「大地にしっかりと根を張り合い、それぞれが大空に向かってたくましく伸びる子ども」の育成を目指しています。矢立峠にこんこんと湧き出る温泉のように温かい地域の方々に支えられ、今年度創立150周年を迎えました。「矢立ふるさとカルタ」を活用しながら矢立のよさを進んで見つけ、広く発信しながら、たくましく成長する矢立っ子たち。隣接する保育所、北陽中学区内の小・中学校、そして碓ヶ関小学校との交流にも積極的に取り組んでいます。「150年を受けつぎ、新しい歴史つくる矢立っ子」を児童会テーマに笑顔と元気を地域に届けています。
南 小	神原 亮	豊かな自然、歴史や文化財などの恵まれた教育環境を生かし、「いいね みなみっ子! チームみなみでチャレンジ!」を合言葉に、ふるさとや仲間と関わりながら、夢や目標に向かって努力する子どもの育成を目指しています。「さつまいも夢プロジェクト」を通して、秋田市大森山動物園と交流するとともに、収穫したさつまいもを地域の福祉施設に届けるなど、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。
扇 田 小	伊藤 智	毎朝児童が打ち鳴らす「思いやりの鐘」の音は、地域にも響きわたり、「笑顔いっぱい 夢いっぱい 元気いっぱいの扇田っ子」の活動の始まりを伝えていきます。「届けよう 笑顔と幸せ」を合言葉に、「地域と共に地域を創る扇田小ふるさとキャリア教育」を核とした教育活動を展開しています。「扇田元気プロジェクト」や、「つきの木タイム」による学び合い等を通して、学教教育目標「届けよう 笑顔と幸せ ～未来の扇田を 支え続ける子どもの育成～」の実現を目指します。
西 館 小	田山 律子	創立150周年を迎える今年度は、学校教育目標「ふるさとと共にかがやき、よりよく生きる子どもの育成～150年のありがとうを丁寧な言葉と心を込めた振る舞いで伝えよう～」のもと、学校をテーマパークとし、学校に行きたいと思えるアトラクション(授業・行事等)づくりに力を入れ、言葉と振る舞い、コミュニケーションを大切にした学校づくりに取り組んでいます。「西館ふるさとコミュ科」を核にした地域、保育園、特別支援学校等との多様な交流活動を展開し、子どもと地域が共にかがやき、ふるさとが大好きと思える、自分の思いを表現できる子どもの育成を目指します。
東 館 小	山口 誉	とんぶり・比内地鶏・十和田石など全国区となる特産物、450年あまり前の浅利氏の残した史跡・文化等は東館小の大きな強み。旧三岳小と旧大葛小の伝統を融合させながら、未来大館市民を育成するべくふるさとキャリア教育の活動に取り組んでいます。150周年に際して学校教育目標を新たに「輝く未来へ なりたい自分を追求し しなやかに生き抜く子どもの育成～保護者や地域を幸せにする「東館笑輝」を目指して～」とした。児童数や職員数は減ったが、「笑顔」「あいさつ」「歌声」「3つの極める(聴く・反応・考える)」で地域に貢献し、多くの方に希望と元気を届けます。そして、東小っ子の更なる進化を目指します。
早 口 小	加藤 長幸	羽州街道に門を置く学校として開校149周年を迎える本校は、今年度も「早口川の徒渡り」「はつらつ元気農園」など、いつも応援してくださる地域に元気と笑顔を届ける活動に取り組めます。今年度は、伝統校に在籍する自覚とプライドを、また羽州街道に門を置く学校の一員としての誇りをもたせる「早小プライド」を前面に出して諸活動に臨んでいます。そして、「自尊・自立・貢献」のふるさとキャリア教育を通して自己有用感を高め、学校教育目標「未来を見つめ はつらつと学び 共に輝く 子どもの育成」を目指します。
山 瀬 小	藤原 寿準	「夢をもち、やさしく、まじめに、せいっぱいがんばる子ども～」を目標に掲げ、地域の「もの・ひと・こと」と豊かにかかわりながらふるさとに学び、未来を拓く児童を育てる教育活動に取り組んでいます。今年度は、「一歩前へ チャレンジ! 実践・共感・協働～たけのこの里でぐんぐん伸びるたけのこっ子 T・T・S(つながり・たしかめ・シンカする)で確かな学力を～」をめあてに、「たけのこプロジェクト」(栽培・販売活動、ふるさとを歩こうデー、たけのこ和紙作り)や伝統文化である樺細工や代野番楽に触れるクラブ活動を推進します。学校・家庭・地域が一体となったふるさとキャリア教育の充実を図り、「たけのこの里でぐんぐん伸びるたけのこっ子」を目指します。
合 計		

児童数	学級数	教職員数	校地(m ²)	校舎(m ²)	開校年月日	所在地 ・ 電話番号
35	6	12	13,893.00	5,788.35	M 7.10.7	大館市花岡町字根井下22 0186-46-1615
22	4	8	13,338.00	3,773.64	M 7.12.24	大館市白沢字白沢1149 0186-46-3012
74	8	13	22,574.63	4,923.44	(統合) S 51.4.1	大館市下川原字向野6 0186-49-5518
159	9	19	12,847.00	5,782.11	M 7.11.5	大館市比内町扇田字白砂131 0186-55-0043
58	7	11	23,540.53	5,593.00	M 7.11.18	大館市比内町笹館字前田野77 0186-55-0324
40	4	8	23,026.00	3,384.65	M 7.10.25	大館市比内町独鈷字独鈷90-1 0186-56-2112
52	7	12	18,291.00	4,046.30	M 8.10.5	大館市長坂字坂地岱12 0186-54-3033
103	6	12	18,864.00	3,801.04	(統合) S 37.4.1	大館市岩瀬字上軽石野39-18 0186-54-3036
2,384	151	268				

(2) 中学校

校 名	校 長 名	学 校 の 特 色
第 一 中	武田 俊一	校訓「英知」「友愛」「忍耐」のもと、教育目標「豊かな創造性を磨き 現在及び将来をたくましく生き抜く生徒の育成」を具現化するため、指導の重点として、豊かな創造性を磨き「自立」と「規律」のバランスを備えた集団の育成を教育実践重点テーマに掲げました。今年度は「校歌・校章の具現化を目指し思いを一つに」を生徒・職員共に合言葉とし、様々なことに挑戦していきます。
北 陽 中	田中 覚	開校10年目の節目の年となります。教育目標「心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成」のもと「持続可能な北陽地区・北陽中」を目指す“成熟期～リブランド北陽中”の1年次に当たります。培ってきた「共感」「規律」を基にして、本校の授業づくりの核「学美」を全教育活動へと広げる「往還」をキーワードに取り組みを進めます。防災活動をはじめとする地域連携活動を通して磨き上げる“振舞い”を、たくましく生き抜いていく自己決定力へとつなげ「未来大館市民」を育てます。「北の大地から大館を照らす太陽のような学校」へ。大館全体を明るく照らすのが「北陽中」の使命です。
下 川 沿 中	田村 新一	校訓の「英気」「叡知」「純情」に当てた3つの「りつ」、「立」「率」「律」を意識しながら「挨拶」「授業」「掃除」を大切にして毎日の生活を送っています。今年度も「(株)下中構想」の下、地域を盛り上げるための提案をしながら、ボランティア活動や、四大祭(「体育祭」「下中祭」「収穫祭」「感謝祭」)に全力で取り組んでいます。これまでも地域と共に全校生徒で継承してきた伝統の「川口獅子踊り」は、今や本校の代名詞にもなっております。全校生徒数は多くありませんが、一人一人が主体性をもって取り組む少数精鋭の中学校として、地域と共に自分たちも楽しみながら頑張っていきます。
南 中	御船 美喜雄	学校教育目標「なりたい自分を求め、自ら考え判断し、行動する生徒の育成」の具現を目指す学校経営の重点キーワードは、「自律と共生」です。この「自律と共生」を支えるスローガンが小中共同実践事項でもある「あいさつ・拍手・歌声」と、学習の3つの「あ」の取組です。1小1中の本学区のよさを発揮し、活力ある地域コミュニティの核となる学校を目指して、家庭・地域と連携・協働し、共感的な人間関係のもと、小中連携による「ふるさとに根ざす元気な学校づくり」を推進します。今年度初めて実施する小中合同運動会「みなみ大運動会」は、まさに象徴的な施策です。
成 章 中	松尾 弘	旧藩政時代の郷校成章書院の精神と伝統を受け継ぐ学校です。地域の福祉施設との交流活動や高齢者宅への花寄贈等のボランティア活動をはじめとした地域との連携・協働活動を中核に、地域と共に歩む学校です。学校教育目標「ふるさとを担う気概にあふれ、未来を切り拓く生徒の育成」のもと、「成章スピリッツ～向学の志気と気風を高め、未来を見つめる～」を合言葉に、「自主：進んで活動する意欲」、「思考：共感的・協働的に学び合う」、「敬愛：ふるさとを愛する」気持ちを意識しながら活動に取り組んでいます。
東 中	伊多波 卓美	校訓「立志」・「友愛」・「剛健」のもと、将来高い志をもってふるさとを支えることのできる人材の育成に努めています。今年度の学校経営キーワード及び生徒会テーマは「光輝燦然(こうきさんぜん)～『わ』でつながる東中生～」です。学校を公(社会を形成する)・私(なりたい自分を追求する)のための土台づくりの場とし、「鳳凰タイム」を軸に、共感的・協働的に学び合う力を大切にしています。ふるさとと共にある学校を目指し、東中三大自慢「あいさつ・歌声・東中大鼓」を通して、地域に元気を届けます。
比 内 中	渡部 鋼喜	教育目標「ふるさとに根ざし、明るくたくましく生きる生徒の育成」のもと、「明朗」「剛健」「立志」の3つの校訓が、表情や行動として表れるように取り組みます。また、「ひない力(人とうまく関わる力、何事にもあきらめずに努力する力、今の学びを未来につなげる力)」を生徒に身に付けさせるために、キーワードの「整える」を意識させ、「あしば(あいさつ、時間、場に応じた行動)」をしっかりと固めると共に、3年目を迎える「とんぶりSDGs」の進化を目指します。そして、比内中生一人一人が輝き、比内中が輝き、地域を元気にします。
田 代 中	山崎 悟	教育目標「ふるさとに誇りをもち、今と未来の幸せをつくる学校」のもと、未来につながる3つの架け橋として、「未来につながる確かな学力の育成」「未来につながる豊かな人間性と社会性の育成」「ふるさとへの誇りや自立の気概を育み、未来につながるふるさとキャリア教育の充実」を掲げて日々の実践に取り組んでいます。人間的基礎力を育成する「AKS運動、伝統の「田っ中ソーラン」をはじめとした生徒の主体的な活動、そして地区ボランティア等の地域貢献活動を通して、一体感と活気あふれる学校を目指しています。
合 計		

(R6.5.1現在)

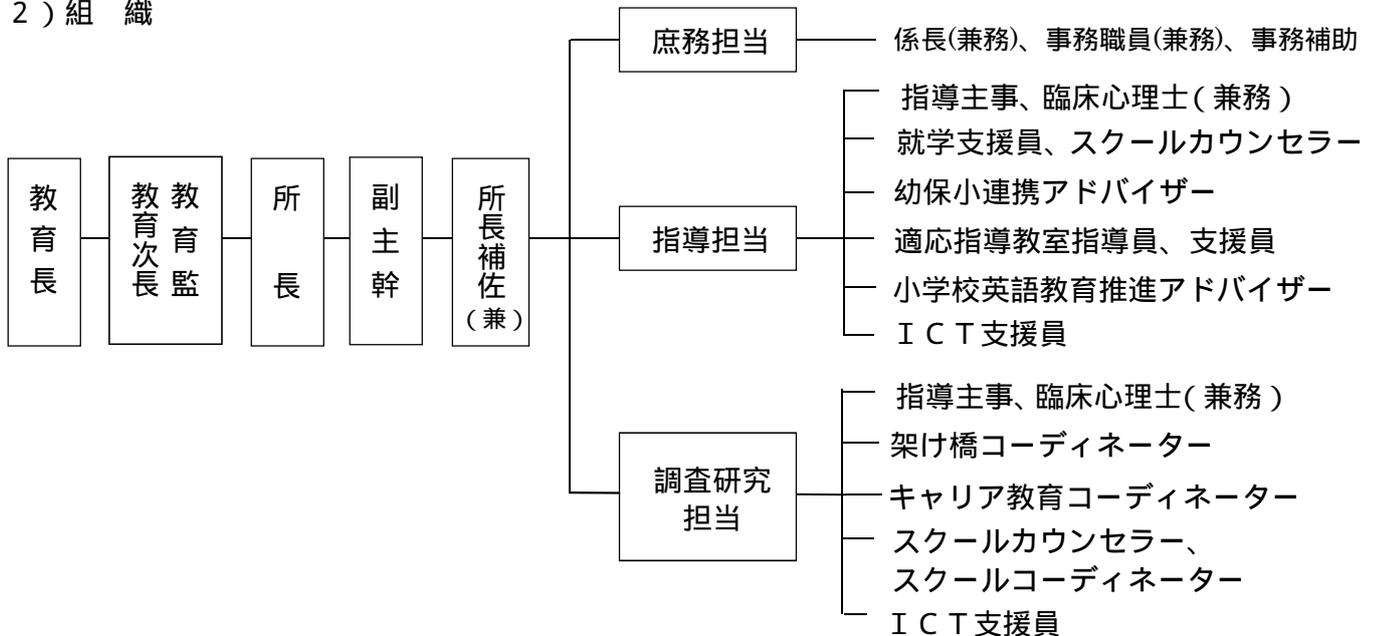
生徒数	学級数	教職員数	校地(m ²)	校舎(m ²)	開校年月日	所在地・電話番号
395	17	36	36,219.68	11,592.49	S 22. 5. 1	大館市北神明町10-1 0186-42-4177
134	8	19	23,934.00	5,562.65	H 27. 4. 1	大館市釈迦内字長者森1 0186-48-2935
40	5	15	26,593.00	3,947.20	S 22. 5. 1	大館市川口字隼人岱108-69 0186-42-9761
62	5	15	48,659.00	4,115.23	(統合) S 40. 4. 1	大館市二井田字小石台20 0186-49-5516
45	4	14	26,931.00	3,926.26	S 22. 4. 1	大館市猿間字中谷地10 0186-52-3022
377	16	31	38,869.69	7,994.29	(統合) S 45. 4. 1	大館市有浦五丁目2-8 0186-42-2835
164	9	22	58,744.00	7,936.00	(統合) S 45. 5. 1	大館市比内町扇田字新館野中岱12 0186-55-1505
94	4	14	69,893.00	7,027.80	(統合) S 43. 4. 1	大館市岩瀬字下軽石野2-2 0186-54-3042
1,311	68	166				

4. 教育研究所

(1) 所在地

大館市早口字上野43番地1 TEL (0186) 43-7114
 FAX (0186) 54-6100
 E-mail kyokenkyu@city.odate.lg.jp

(2) 組織



(3) 所員 24名

所長 1名 副主幹 1名 所長補佐(兼務) 1名 学事係長(兼務) 1名 指導主事 1名
 事務職員(兼務) 5名 臨床心理士 1名 事務及びキャリア教育補助 2名
 キャリア教育コーディネーター 1名
 適応指導教室指導員 2名 適応指導教室支援員 1名 就学支援員 1名
 架け橋コーディネーター 1名 幼保小連携アドバイザー 1名
 小学校英語教育推進アドバイザー 1名 スクールコーディネーター 1名
 市スクールカウンセラー 2名

(4) 事業

指導・援助

- ・ 学校訪問による指導と援助
- ・ 教育諸調査の実施と分析、活用
- ・ 小学校英語教育の推進
- ・ 外国語指導助手、外国語活動支援員の活用
- ・ 市教育研究会への援助と協力
- ・ 学習指導要領、教育課程の実施に向けた指導と援助
- ・ 幼保小中高大連携の推進
- ・ ふるさとキャリア教育の推進
- ・ ICT活用の指導と援助

教職員研修

- ・夏季研修会・ICT活用研修講座
- ・教職員研究実践発表会
- ・初任者研修・市内諸施設及び企業等見学会
- ・講師研修会
- ・授業力向上支援研修
- ・小学校外国語活動・外国語研修会



市内施設・企業見学会
(大館工芸社での曲げわっぱ製作の見学)



授業力向上支援研修会
(授業マイスターとのグループ協議)

教育相談

- ・相談活動(子育て相談会、来所相談、電話相談、学校訪問)
- ・いじめ・不登校児童生徒の実態把握と指導・援助
- ・学校及び関係諸機関との連携による指導・援助
- ・幼児通級指導教室「育ちの教室ぐんぐん」による指導・援助
- ・スクールカウンセラーの派遣

研修や指導に活かされる資料の収集及び情報提供

- ・所報「教育おおだて」
- ・諸研究会、研修会の情報提供
- ・先進的研究及び実践の紹介

子どもハローワークの運営

- ・きりたんぼまつり等への参加

子どもサミットの運営

- ・ペットボトルキャップ回収
- ・こでん回収
- ・学校独自の活動(様々なロス削減の活動、メディアコントロールに関わる活動)
- ・もっとつながるあいさつ運動
- ・釜石児童生徒会「かまいし絆会議」との交流

(5) 主な事業から

【大館市子どもサミット】

代表会議での活発な意見交換



釜石市訪問 かまいし絆会議との交流



【子どもハローワーク】

消防士のお仕事（大館消防署）



薬剤師体験（青森大学）



5. 教育研究会

(1) 共通主題

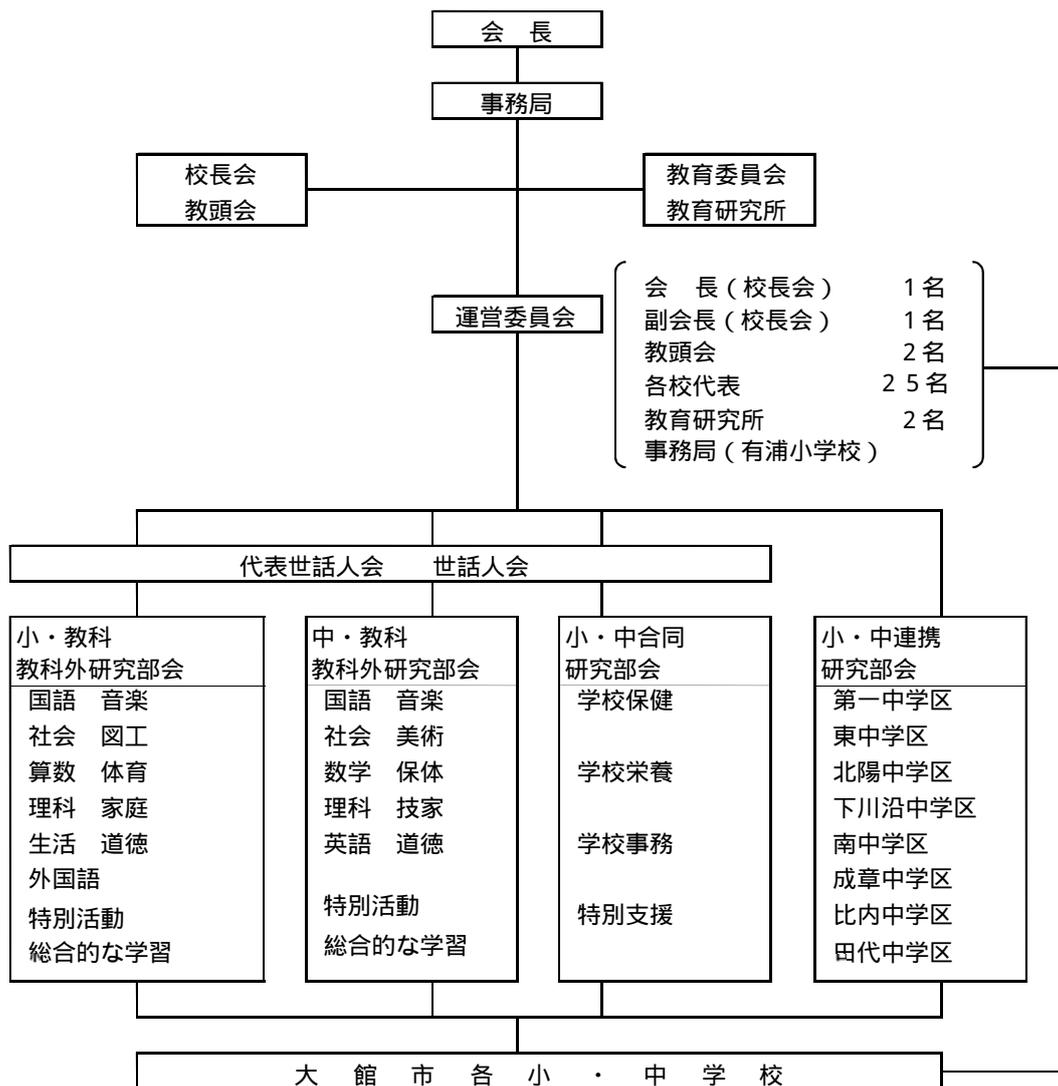
「自立の気概と能力を備え、ふるさとの未来を切り拓く、児童生徒の育成」

～主体的で共感的・協働的な学び合いによる『おおだて型学力』の深まりを目指して～

(2) 目的

この会は、各校の特色を生かしながら大館市の教育の共通課題に対して計画的研修・実践活動を行い、教職員の資質を高めるとともに、関係教育機関と協力して大館市の教育の充実発展を図ることを目的とする。

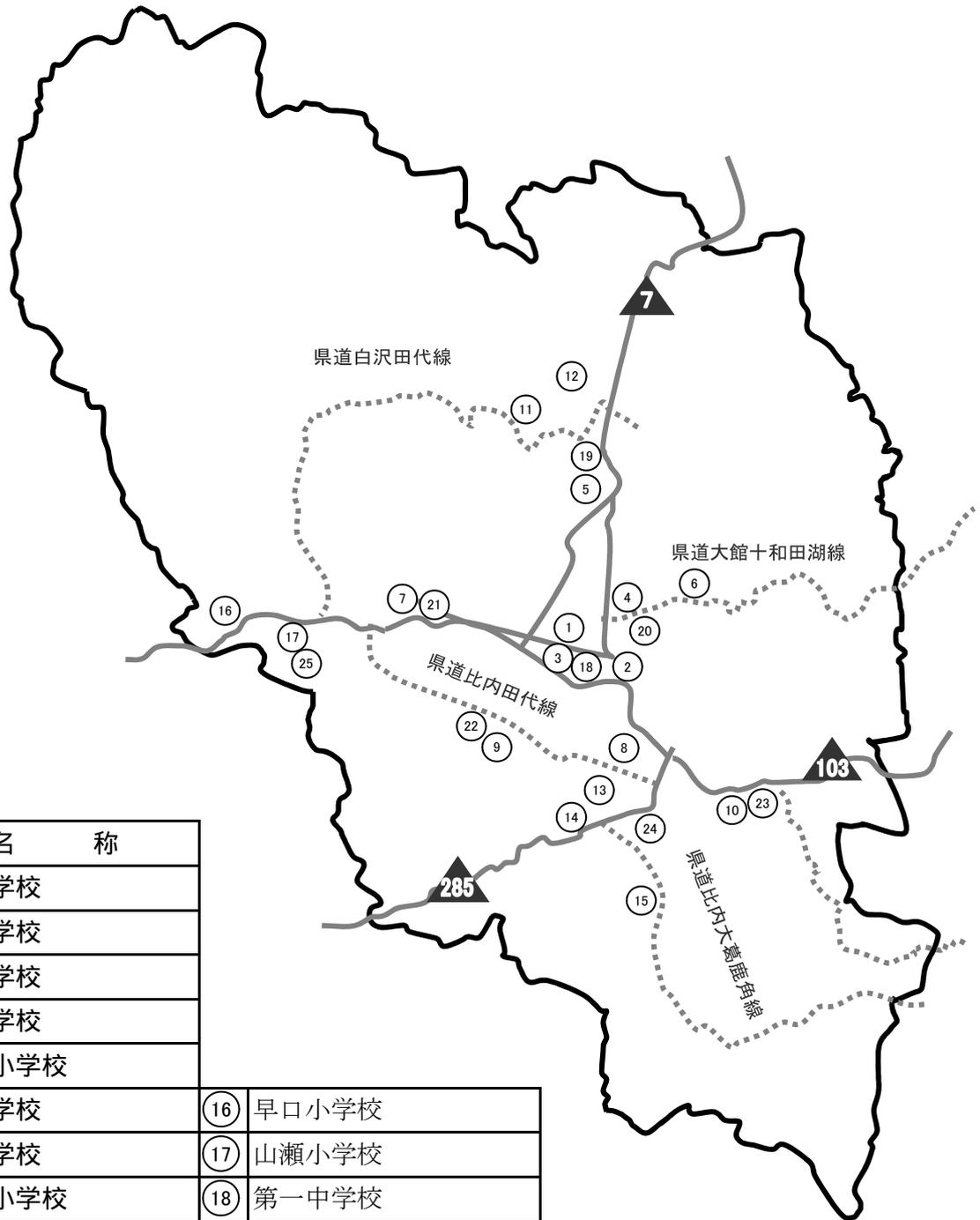
(3) 運営機構



(4) 今年度の事業計画

- 4月12日 第1回総合研究会 (13:30~文化会館・中央公民館等)
- 5月 7日 第1回運営委員会 (有浦小学校)
- 5月 7日 第1回研究紀要編集委員会
- 10月16日 中学校第2回総合研究会 (午後)
- 10月17日 小学校第2回総合研究会 (午後)
- 11月 6日 第2回総合研究会 (午後)
特別の教科：道徳 教科外：特別活動
- 11月 7日 合同：特別支援、学校事務、学校栄養、学校保健
- 12月26日 第2回研究紀要編集委員会 (午後 有浦小学校)
- 2月 5日 第2回運営委員会 (午後 有浦小学校)
- 3月 研究紀要「究」発行

6 . 大館市立小学校・中学校所在地



番号	名 称	
①	桂城小学校	
②	城南小学校	
③	城西小学校	
④	有浦小学校	
⑤	釈迦内小学校	
⑥	長木小学校	⑬ 早口小学校
⑦	川口小学校	⑭ 山瀬小学校
⑧	上川沿小学校	⑮ 第一中学校
⑨	南小学校	⑯ 北陽中学校
⑩	成章小学校	⑰ 東中学校
⑪	花岡小学校	⑱ 下川沿中学校
⑫	矢立小学校	⑲ 南中学校
⑬	扇田小学校	⑳ 成章中学校
⑭	西館小学校	㉑ 比内中学校
⑮	東館小学校	㉒ 田代中学校



友好都市教育交流事業（常陸大宮市）



西ノ内和紙漉き絵体験（常陸大宮市）

第4編 保健・給食

1. 学校保健

(1) 目 標

「自分のからだを知って、心もからだも健康な生活を送れるようにする」ことを目標に、各種の健康診断を実施し、活用しています。当面の課題として、学校保健委員会を有効に機能する方策について、各校とも工夫しているところです。

(2) 事 業

内科検診 歯科検診 眼科検診 尿検査 脊柱・運動器検診
 耳鼻科検診 (小学校1・5学年、中学校1学年)
 貧血検査 (小学校5学年、中学校2学年)
 脊柱側弯検査 (小学校5学年)
 心電図検査 (小学校1・4学年、中学校1学年)

(3) 小・中学生の体格

(単位：身長cm、体重kg)

(R5年度)

性別	項目	区分	小 学 校						中 学 校		
			1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	1学年	2学年	3学年
男 子	身長	大館	117.2	124.0	129.1	135.3	140.5	148.3	154.6	162.8	167.0
		県	117.7	123.9	129.7	135.2	140.8	147.2	156.1	162.3	167.2
		全国	117.0	122.9	128.5	133.9	139.7	146.1	154.0	160.9	165.8
	体重	大館	22.3	25.7	29.3	33.0	36.2	42.1	46.9	54.0	57.0
		県	22.4	26.0	29.3	33.4	37.1	41.6	48.7	52.2	57.4
		全国	21.8	24.6	28.0	31.5	35.7	40.0	45.7	50.6	55.0
女 子	身長	大館	116.8	122.9	128.7	135.0	142.3	148.7	153.1	155.8	157.4
		県	116.8	122.6	129.0	136.0	142.8	149.1	153.0	156.3	157.2
		全国	116.0	122.0	128.1	134.5	141.4	147.9	152.2	154.9	156.5
	体重	大館	22.1	24.9	27.6	32.5	36.7	42.4	46.6	48.9	51.7
		県	22.0	24.7	28.5	32.5	37.0	42.2	45.4	49.3	50.8
		全国	21.3	24.0	27.3	31.1	35.5	40.5	44.5	47.7	49.9

2. 学校給食

(1) 目 標

成長期にある児童生徒の健康の保持増進と、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して、好ましい人間関係を育成する。

(2) 概 要

小・中学校合わせて25校全校で完全実施されています。
 学校給食においては、郷土料理や地場産物を活用した献立や、健康づくりに配慮した献立を実施し、食育に取り組んでいます。また、各校においては、行事食やバイキング給食などを実施し、特色ある楽しい給食を目指しています。

(3) 学校給食実施状況

<完全給食>

(R6.5.1現在)

施設名	開設年月日	食数	一週間の実施回数	対象校	施設面積
桂城小学校	S42. 5. 2	280	5日(米飯 3回)	桂城小	142.50m ²
城南小学校	S49. 1.22	332	5日(米飯 3回)	城南小	260.00m ²
城西地区 学校給食センター	H14. 4. 1	715	5日(米飯 4回)	城西小、一中	519.00m ²
西地区 学校給食センター	H 9. 4. 1	323	5日(米飯 4.5回)	川口小、南小、下川沿中、南中	458.89m ²
成章 学校給食センター	H 7. 4. 1	272	5日(米飯 4回)	成章小、上川沿小、成章中	399.09m ²
比内 学校給食センター	H16. 4. 1	486	5日(米飯 4回)	扇田小、西館小、東館小、比内中	954.35m ²
田代 学校給食センター	S56. 4. 1	292	5日(米飯 4.5回)	早口小、山瀬小、田代中	658.28m ²
北地区 学校給食センター	H20. 4. 1	1,518	5日(米飯 3回)	有浦小、釈迦内小、長木小、花岡小、矢立小、北陽中、東中	1,371.87m ²
計	8施設	4,218		小学校 17校 中学校 8校	

第5編 社会教育

令和6年度 大館市社会教育推進計画

1. 大館市における社会教育の基本方針

今日の社会を取り巻く情勢は、人口減少・少子高齢化、社会構造の複雑化、高度情報化社会の進展などにより大きく変化している。

このような状況の中、年齢、性別、人種、障がいを超えて多様性を受け入れ、誰もが社会にとって大切な存在として、一人ひとりの個性と能力が発揮できる地域づくりを進め、人生100年時代を見据えた、少数精鋭のまちづくりを目指した社会教育の推進が求められている。

これまで取り組んできた「第7次大館市社会教育中期計画」の評価を踏まえた上で、新たな社会教育中期計画では、「おおだて未来づくりプラン」との整合性を図り、「ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習社会の推進と支援」を基本目標とし、地域に根ざしたウエルビーイングを目指して、「めざす姿」、「市の取り組み」等を掲げ、ふるさとキャリア教育・学習の推進と社会教育の一層の連携・推進を図るための指針としている。

2. 令和6年度大館市社会教育推進の重要施策

基本目標：ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習の推進と支援

重点施策

(1) ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める

達人講座の実施

人材リスト「おおだて人財名簿」及び「大館市出前講座」の充実と活用

公民館事業への青少年の参加促進

(2) 市民版ふるさとキャリア教育を推進し、社会人の学び直しを支援する

生涯学習推進体制の充実

大館学び大学事業の展開

「大学公開講座」、「大学校市民公開講座」の開催

超高齢社会に対応した生涯学習の充実

障がい者のための生涯学習の推進

(3) 「未来大館市民」を育成するため、地域とのつながりを生かした活動の充実を図る

学校支援活動事業の推進

家庭教育の充実

放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業並びにわくわく土曜教室推進事業の実施（生涯学習課）

音楽療法士派遣事業

青少年健全育成活動の充実

少年相談センターの活動の充実

社会教育委員の活動の充実

- (4) 高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する
 - 「まちづくり会議HACHI」の活動への支援
- (5) 「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
 - 「生涯学習フェスティバル」の実施
 - 地区住民や関係団体との連携強化
 - 地域コミュニティづくりに向けた支援体制の強化
 - 公民館事業の充実と参加促進
 - 「大館ふるさとカルタ」の普及とカルタ大会の開催
 - 木育事業の実施
- (6) 「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める
 - 図書館運営に関する進行管理
- (7) 伝統・芸能・文化の継承と振興を支援する
 - 芸術文化の鑑賞及び体験機会の提供
- (8) 大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する
 - 企画（特別）展の開催とホームページを活用した効果的な情報発信
 - 博物館講座等の開催と研究紀要の発行
- (9) 郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する
 - 大館市郷土芸能保存協会、大館市文化財保護協会と連携した事業の推進
- (10) 文化財の保護と調査を進め、未来に伝える
 - ニホンザリガニの生息地再生と増殖
 - 市内遺跡発掘調査及び記録出土品整理
 - 鳥潟会館庭園の国指定後の保存と活用
- (11) 歴史的風致維持向上に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める
 - 歴史的風致維持向上計画の事業に取り組む民間組織への支援

3. 社会教育施設一覧・利用状況

[1] 施設一覧 (R6.5.31現在)

施設名	設立年	建築床面積 m ²	区域人口 (世帯数) 人	館長名	専兼 非別	職 員		専併 非別
						職	氏 名	
中央公民館	昭和21年	4,500.75	26,751 (13,164)	外 館 志	兼	係 長 主 査 主 任 主 事 <small>会計年度任用職員</small> " " "	篠 村 裕 紀 佐々木 孝 幸 一 関 留美子 畠 山 俊 輔 片 岡 恵 美 石 田 里 美 菅 原 奈 美 柴 田 さくら	専 " " " " " "
釈迦内公民館	昭和25年	1,279.29	5,972 (2,806)	日 景 省 蔵	非	主 任 主任主事	佐々木 金 義 齋 藤 拓 海	併 専
長木公民館	昭和28年	775.33	3,364 (1,540)	石 田 晴 子	非	主 任 主 事	武 田 吉 輝 桂 田 岳	併 専
長木公民館 雪沢分館	昭和30年	441.30	391 (179)	畠 山 篤 志	非			
上川沿公民館	昭和28年	2,835.39	2,234 (1,006)	戸 田 孝 彦	非	主 任	三 澤 明日子	併
下川沿公民館	昭和28年	777.44	4,641 (2,223)	佐 藤 眞 人	非	係 長	小 林 聖 一	併
真中公民館	昭和32年	541.06	1,038 (435)	五十嵐 芳 子	非	係 長	佐 藤 竜 哉	併
二井田公民館	昭和30年	676.95	1,486 (664)	松 田 誠 行	非	主 査	長 崎 浩	併
二井田公民館 麓西分館	昭和62年	756.69	374 (147)	芳 賀 保	非			
十二所公民館	昭和27年	622.29	2,845 (1,496)	吉 成 眞	非	係 長	渡 部 甚 弘	併
花岡公民館	昭和30年	1,028.86	2,058 (1,006)	伊 勢 善 和	非	係 長	岩 谷 憲 昭	併
矢立公民館	昭和41年	3,070.15	1,342 (643)	若 松 俊 一	非	係 長	山 内 浩 樹	併
比内公民館	昭和30年	3,181.22	8,327 (3,656)	若 宮 司	非	係 長 <small>会計年度任用職員</small> "	根 本 貢 小 玉 紀菜美 佐 藤 美 子	専 " "
比内公民館 扇田分館	昭和30年	比内公民館内	3,798 (1,780)	明 石 和 夫	非	主 事	萬 田 清 一	非
比内公民館 西館分館	昭和30年	構造改善 センター内	1,813 (740)	渡 部 昭 彦	非	主 事	多賀谷 隆 文	非
比内公民館 八木橋分館	昭和30年	517.77	426 (162)	長谷部 勇 弘	非	主 事	佐々木 晃 吉	非
比内公民館 東館分館	昭和30年	336.20	986 (414)	武 田 孝	非	主 事	野 呂 忠 朗	非

所在地	電話番号	備考
大館市字桜町南45-1	0186-42-4369	昭21.9 大館町議会、公民館設置を議決する 昭21.11 御大典記念公会堂「公民館」として設置 昭30.3 名称を「中央公民館」と改称、衆楽園に移転 昭49.9 県立桂高校跡地に移転、スポーツ館併設 昭60.12 改築 平15.4 サンアビリティーズ大館を雇用能力開発機構より譲渡
〃 釈迦内字上大留6	0186-43-7117	昭55.10 移転改築 平4.3 改築 (倉庫 79.48㎡) 令6.2 改修
〃 上代野字八幡岱24-1	0186-43-7118	平28.12 改築
〃 雪沢字上谷地55-3	-	昭56.10 改築
〃 池内字大出135	0186-42-0836	平25.12 交流センターへ移転
〃 川口字隼人岱108-55	0186-49-0271	昭53.9 改築 (倉庫 20.15㎡) 平27.1 改築 (本館・講堂 757.29㎡)
〃 出川字上野30	0186-49-5928	昭58.11 改築 (廊下 32㎡ 倉庫 124㎡) ・農林業多目的研修集会施設(昭56.3 新築)を管理運営
〃 二井田字高村1	0186-49-4121	平19.1 改築 (倉庫 36.43㎡) (ポンプ室 3.54㎡)
〃 比内前田字下前田8	-	昭62.4 旧麓西振興会館に設置 平元.12 改築 (倉庫 48.2㎡) ・麓西体育館(平2.2 新築564.40㎡)を管理運営
〃 十二所字元館1-1	0186-43-7123	平24.1 改築 (ポンプ室 7.45㎡)
〃 花岡町字前田102-3	0186-43-7124	昭60.2 改築 (ポンプ室 6.34㎡) 昭60.3 増築 (倉庫 20.00㎡) 平10.1 事務室増築 令6.2 改修
〃 白沢字白沢1149	0186-43-7125	平28.12 旧矢立中学校へ移転 (物置 154.87㎡) (焼却炉 10.00㎡) (3,4階 590.57㎡)
〃 比内町扇田字庚申岱8	0186-43-7141	平20.12 改築 (公民館 2,516.98㎡) 図書館、郷土民俗資料館増設 (付属体育館 644.51㎡) (機械室他 19.73㎡)
〃 比内町扇田字庚申岱8	-	比内公民館内
〃 比内町達子字曲谷地62-7	-	平3 新築 構造改善センター内 (241.805㎡)
〃 比内町八木橋字畠沢岱16	-	平14 旧八木橋小学校(昭30建築)の理科室と音楽室を、 講堂分館として活用
〃 比内町独鈷字小館下18-2	-	昭51 新築 東館コミュニティセンターを分館として活用

施設名	設立年	建築床面積	区域人口 (世帯数)	館長名	専兼 非別	職員		専併 非別
						職	氏名	
比内公民館 味噌内分館	昭和30年	223.90	270 (113)	佐藤正喜	非	主事	佐藤巧	非
比内公民館 三岳分館	昭和30年	旧三岳小学校内	631 (259)	本間昭弘	非	主事	本間賢一	非
比内公民館 大葛分館	昭和30年	高齢者若者 センター内	403 (188)	嶋田淳	非	主事	長内冬樹	非
田代公民館	昭和51年	2,059.90	5,265 (2,324)	伊藤康栄	非	係長 <small>会計年度任用職員</small>	田村論子 成田恵	専 "
田代公民館 早口一分館	平成17年	995.95	914 (386)	佐藤正夫	非	主事	富樫滋	非
田代公民館 早口二分館	昭和58年	473.90	679 (305)	五十嵐香平	非	主事	宮本隆俊	非
田代公民館 本郷分館	昭和52年	284	190 (91)	下山茂	非	主事	高橋誠	非
田代公民館 岩野目分館	昭和49年	451.01	286 (132)	工藤俊一	非	主事	小林秀樹	非
田代公民館 大野分館	昭和47年	1,195.10	110 (53)	工藤秀雄	非	主事	安保敬一	非
田代公民館 岩瀬分館	昭和55年	407.79	695 (315)	古家葉子	非	主事	三浦敏司	非
田代公民館 谷地の平分館	昭和52年	457.02	1,086 (488)	伊藤一寿	非	主事	古家明	非
田代公民館 赤川分館	昭和53年	595	545 (232)	藤田薫	非	主事	前田徳美	非
田代公民館 越山分館	昭和48年	356.40	250 (124)	石井充伸	非	主事	小林幸宏	非
田代公民館 山田分館	昭和50年	599.47	510 (198)	田村紀穂	非	主事	岩沢繁	非
大館市民交流 センター	昭和57年	866.55	66,088 (31,289)	外館志	兼	<small>会計年度任用職員</small> "	河田美智子 小濱朗子 島内美佳子 長崎恵美	専 " " "
松下村塾	昭和59年	60.17	66,088 (31,289)					

所在地	電話番号	備考
" 比内町味噌内字鬼ヶ沢10		昭57 旧東館小学校第一分校（昭32建築）を分館として活用 同年内装工事実施 平18 2月一部解体(237.94㎡) 7月改築
" 比内町中野字上客路橋17		平18 旧三岳小学校（昭28～38建築）校舎の一部を分館施設として活用
" 比内町大葛字大葛家後74-3		平 3 新築 大葛高齢者・若者センター内
" 早口字上野43-1	0186-43-7126	昭51. 8 新設 総合開発センター 平17. 6 改称 田代公民館・付属体育館 595.00㎡
" 早口字上野55-8		平17. 2 購入 早口営林署庁舎（昭51建築） 平17. 6 改修 早口一分館として開設 （倉庫 7.75㎡）
" 長坂字宝田岱33-35		昭59. 1 新設 田代西公民館 平17. 6 改称 早口二分館
" 早口字上屋敷66-2		昭52. 5 本郷児童館より転用 昭54. 8 改築 本郷公民館 平17. 6 改称 本郷分館
" 早口字岩野目22		昭49. 9 新設 岩野目地域コミュニティセンター 平17. 6 改称 岩野目分館
" 早口字大野1-4		昭47.12 新設 大野地域コミュニティセンター 平17. 6 改称 大野分館 平26 大野体育館が移管
" 岩瀬字大柳95-6		昭56. 3 新設 岩瀬公民館 平17. 6 改称 岩瀬分館
" 早口字深沢岱40-4		昭52.10 新設 谷地の平公民館 平14. 4 改築 平17. 6 改称 谷地の平分館
" 岩瀬字赤川20		昭54. 3 新設 赤川公民館 平17. 6 改称 赤川分館
" 岩瀬字越山向岱77-5		昭48.11 新設 越山地域コミュニティセンター 平17. 6 改称 越山分館
" 山田字寺下42		昭50.11 新設 山田地域コミュニティセンター 平17. 6 改称 山田分館
" 根下戸新町6-13	0186-49-7028	昭57. 4 新築 働く婦人の家 平13. 4 改称 女性センター 令 4. 4 改称 大館市民交流センター
" 字谷地町12		昭59.10 新築 平29. 4 移築

施設名	設立年	建築 床面積	区域人口 (世帯数)	館長名	専兼 非別	職員		専併 非別
						職	氏名	
少年相談 センター	昭和39年	中央公民館内	66,088 (31,289)	高橋 秀一	兼	少年指導・相談員	櫻庭 博子	専
桂城 児童センター	昭和56年	499.50	5,531 (2,765)	畠山 慶子	非	会計年度任用職員	兜森 百合子	非
						"	田山 淳子	"
						"	米澤 美佳子	"
釈迦内 児童センター	昭和63年	397.00	5,622 (2,590)	"	"	会計年度任用職員	日景 由紀子	非
						"	菊地 桂子	"
						"	七尾 美智代	"
城西 児童センター	平成15年	407.11	6,199 (3,040)	"	"	会計年度任用職員	畠山 弥生	非
						"	三浦 ゆかり	"
						"	近藤 久美子	"
有浦児童会館	昭和55年	350.93	8,936 (4,177)	"	"	会計年度任用職員	佐々木 美香	非
						"	河野 佐知子	"
						"	若松 真喜子	"
有浦児童会館 分館	平成24年	269.21		"	"	会計年度任用職員	金谷 千佳子	非
						"	池田 江利子	"
						"	佐藤 美果子	"
城南児童会館	平成11年	229.01	8,081 (4,145)	"	"	会計年度任用職員	竹村 ひとみ	非
						"	田畑 美香子	"
						"	前田 友恵	"
						"	笹原 法見	"

所在地	電話番号	備考
" 字桜町南45-1	0186-42-0769	昭39. 7 県が大館市少年補導センター開設 昭46. 3 大館市に移管 昭57. 7 大館市少年相談センターと名称変更
" 水門町1-5	0186-49-4708	昭56.12 新築
" 釈迦内字相染台24	0186-48-4486	昭63. 4 新築
" 城西町8-1	0186-43-6153	平15. 7 新築
" 有浦四丁目6-43	0186-49-4420	平19.11 新築
" 有浦一丁目8-33	0186-42-3131	平24. 3 改築
" 字桜町7-2	0186-42-8719	平24. 3 改築

[2] 利用状況

(単位：人)

施設名		年度	R1	R2	R3	R4	R5	
公	中 央		95,654	67,455	79,105	76,974	78,812	
	釈 迦 内		16,471	11,123	11,830	11,737	13,104	
	長 木		18,890	14,697	16,770	15,038	17,718	
		雪沢分館		2,219	1,127	1,234	1,126	1,086
	上 川 沿		21,473	16,937	19,655	22,666	22,766	
	下 川 沿		12,086	7,863	8,754	7,783	9,299	
	真 中		8,054	4,781	4,464	4,290	6,086	
	二 井 田		10,503	5,936	7,072	6,222	6,771	
		麓西分館		2,647	1,386	1,359	925	1,299
	十 二 所		8,180	6,013	5,946	5,392	5,724	
	花 岡		16,062	10,316	11,390	10,714	10,071	
	矢 立		8,997	6,147	5,671	5,672	6,794	
	比 内		30,024	19,074	22,440	22,952	25,283	
	民		扇田分館	-	-	-	-	-
			西館分館	-	-	-	-	-
		八木橋分館	148	0	72	80	125	
		東館分館	3,580	2,557	2,614	3,096	2,581	
		味噌内分館	940	563	683	587	676	
		三岳分館	1,140	63	419	35	109	
		大葛分館	-	-	-	-	-	
館		田 代		10,778	7,949	9,172	9,100	9,624
			早口一分館	1,778	864	1,062	1,088	1,488
			早口二分館	1,741	495	701	699	1,085
			本郷分館	832	383	675	594	610
			岩野目分館	1,222	505	967	1,268	1,269
			大野分館	689	548	1,351	960	951
			岩瀬分館	2,635	865	1,135	1,096	1,606
			谷地の平分館	3,611	2,042	2,218	2,137	3,090
		赤川分館	2,114	1,035	1,726	1,827	2,586	
		越山分館	1,052	460	674	532	685	
	山田分館	2,947	2,028	2,190	1,841	2,156		
市民交流センター（旧女性センター）			11,769	13,983	11,186	11,751	10,922	
勤労青少年ホーム（R4廃止）			11,871	8,332	7,265	-	-	
松 下 村 塾			1,147	594	599	391	411	
児 童 育 成 施 設	桂城児童センター		15,583	17,787	19,250	20,313	21,957	
	釈迦内児童センター		15,327	16,743	15,035	11,756	10,731	
	城西児童センター		16,399	17,663	14,058	16,930	17,294	
	有浦児童会館		18,364	18,565	17,851	15,046	17,368	
	有浦児童会館分館		12,013	12,944	12,716	10,115	10,587	
	城南児童会館		12,387	12,254	12,228	12,373	10,989	

4. 各施設の概要

[1] 公民館

令和6年度 大館市公民館事業計画

【運営方針】

公民館は、これまで、地域における住民の学習の場として、また、住民の地域活動を支え、地域コミュニティづくりの中核をなす施設として、大きな役割を果たしてきました。しかしながら、昨今の公民館を取り巻く環境は、超高齢社会、若者の流出による人口減少に伴う地域の担い手不足などの課題を抱えています。

そのような課題を解決するとともに、地域の活性化を図るために「ひとづくり」という観点から、学校をはじめとする地域内の各種団体との連携を強め、多様な学習機会の提供、学習団体・グループの育成・支援、そして幅広い年齢層が参加しやすい事業の実施により「生涯を通して学び、人財が育つまち」を目指します。

【重点目標】

1. 地域コミュニティづくりへの支援活動強化
2. 各公民館連携事業の創出
3. 高校生まちづくり会議「HACHI」の学習活動充実
4. 地区の特色を活かした事業の創出
5. 小学生・中学生・高校生・大学生の公民館事業への参加
6. 世代間交流事業の充実
7. 施設の改修や修繕、防災拠点としての安全対策
8. 社会人の学び直し

【事業内容】

1. 中央公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年 ・わんぱくスクール ・夏休み将棋教室 ・夏休み囲碁教室 ・新春書き初め交流会	8月～1月 7月 7月 1月
	若年 ・高校生まちづくり 会議「HACHI」	5月～3月
	高齢者 ・大館市老壮大学	4月～2月
	・大館学び大学	5月～2月
芸術文化	生涯学習フェスティバル ・サークルまつり	9月28～29日
社会体育	・大館市ラジオ体操会 (三世代交流事業)	4月22日～ 9月30日
広報	・中央公民館だより (web版のみ)	随時



夏休み将棋教室



老壮大学
(講師：佐藤真理子氏)

2. 釈迦内公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年 ・納涼小祭り ・世代間交流会	7月 1月
	成人 ・温故知新会	通年 (隔月1回)
	高齢者 ・相染慶老大学	5月~3月
芸術文化	釈迦内地区文化祭	11月
社会体育	各種スポーツ大会	6月~3月
広報	公民館だより	4月~3月



相染慶老大学

3. 長木公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年 ・PTA交流会	2月
	女性 ・女性教室(女の教室)	4月~3月
	一般 ・館外研修会 ・長木地区囲碁・麻雀大会	7月 2月
	高齢者 ・長寿学級	4月~3月
芸術文化	公民館祭	11月
社会体育	長木地区市民運動会 雪沢地区市民運動会	6月
	各種スポーツ大会	7月~3月
広報	公民館だより	4月~3月



公民館祭

4 . 上川沿公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年・親子 ・きりたんぼ作りに挑戦 (婦人会と連携)	随時
	女性 ・ヘルシーメイト教室 (婦人会と連携)	
	成人一般 ・健康教室 ・防災講習会 ・ホール展示	
芸術文化	ふるさと文化祭	11月
	春をよぶ音楽祭	2月
社会体育	住民運動会	6月
	各種スポーツ大会	5月～3月
広報	公民館だより	4月～3月

5 . 下川沿公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年 ・雪上レクリエーション	2月
	高齢者 ・ロイヤル学級学習会及 び館外研修	4月～3月 12回開催
	一般 ・幼、小、中、PTA、 公民館合同研修会	随時
芸術文化	地区文化祭	10月
社会体育	地区住民親睦運動会	6月
	各種スポーツ大会	7月～3月
広報	公民館だより	4月～3月



4年ぶりに開催された
上川沿地区住民運動会(R5.6月)



ボッチャ交流会(年4回開催)

6. 真中公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	幼児 ・ひまわり体験	5月～10月
	少年 ・算数・数学、 ふるさと学び教室	8月
	高齢者 ・いきいき学級	5月～3月
芸術文化	七宝焼講座	6月
	絵手紙講座	7月
	ひまわり種・苗植え、 撮影会、収穫	5月～9月
	真中地区文化祭	10月
社会体育	真中地区大運動会	6月
	各種スポーツ大会	6月～12月
広報	公民館だより	4月～3月



真中地区大運動会

7. 二井田公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年 ・ちびっこ夏まつり & 冬まつり	夏季 冬季
	高齢者及び成人 ・公民館交流サロン	5月～3月
	高齢者（麓西地区） ・八子公学級	年3回
	女性 ・女性学級	12月
芸術文化	二井田地区文化祭	11月
社会体育	二井田地区住民運動会	6月
	各種スポーツ大会	7月～2月
	麓西地区三世代交流会	8月
	麓西地区交流 ユニカールの集い	3月
広報	公民館だより	4月～3月



文化祭芸能（二井田地区のど自慢）

8. 十二所公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	一般 ・成人学級	4月～3月
	少年、一般 ・十二所盆踊り大会 ・かまくらやき	8月 2月
	文化祭	11月
社会体育	十二所地区 市民運動会	8月
	各種スポーツ大会	5月～12月
広報	公民館だより	4月～3月

9. 花岡公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	少年 ・ひょうたん子学級 (子ども公民館) ・学童野球大会	12月・1月 7月
	高齢者 ・長寿大学	4月～3月
	一般 ・花いっぱい運動	6月～10月
芸術文化	産業文化祭	10月
社会体育	各種スポーツ大会	5月～3月
広報	公民館だより	4月～3月

10. 矢立公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	乳幼児 ・地域子育て学級	7・11月
	一般 ・矢立峠散策会	5・7・10月
	一般 ・すこやか教室	4月～2月
芸術文化	女性 ・矢立婦人団体 学習支援事業	12月～3月
	公民館祭り	10月
社会体育	各種スポーツ大会	5月～2月
広報	公民館だより	4月～3月



十二所かまくらやき



花岡長寿大学
(館外研修)



地域子育て学級
夕涼み会
(矢立保育所)

11. 比内公民館

区分	事業名	開催期間
社会教育	成人 ・比内あおぞら学園 《教養科目》 ・講話 ・館外研修ほか 《選択科目》 ・パン・合唱 ・体操・歴史 ・書道	5月～12月
	一般 ・星空観望会 ・比内地鶏料理講座 ・とんぶり料理講座 ・そば打ち講座	秋季・冬季 秋季 秋季 冬季
芸術文化	比内芸術文化祭 文化講演会 新春書き初め会	11月 11月 1月
社会体育	分館対抗スポーツ大会 ポッチャ交流大会	7月 10月
広報	公民館だより (web版のみ)	4月～3月

比内公民館分館

分館名	主な事業
扇田	分館運営委員会(随時)・花いっぱい運動(6月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・扇田地区運動会(9月)・とっとこども駅伝(9月)
西館	分館運営委員会(随時)・クリーンアップ(4・10月)・花いっぱい運動(6月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・達子森夏祭りへの協力(7月)・西館地区市民運動会(8月)・西館ユニカール大会(11月)・西館ふれあい祭り(2月)・比内支部長杯ユニカール大会(3月)
八木橋	分館運営委員会(随時)・花いっぱい運動(4月)・さなぶり運動会(6月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・達子森夏祭りへの協力(7月)・ポッチャ交流会(10月)
東館	分館運営委員会(随時)・花いっぱい運動(5月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・東館地区レクリエーション交流会(9月)
味噌内	分館運営委員会(随時)・クリーンアップ(4月)・花いっぱい運動(6～9月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・比内ユニカール大会(7月)・運動会、住民交流会、こども祭り(9月)・健康づくり応援教室(9月)・老壮交流会(12月)・ユニカール同好会交流会(12月)・住民交流新年会(1月)・文化講演会(3月)
三岳	分館運営委員会(随時)・花いっぱい運動(6月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・三岳地区きりたんぼ交流会(11月)・雪中田植え、作占い(2月)
大葛	分館運営委員会(随時)・ベニヤマ荘周辺草刈り(5月)・花いっぱい運動(6月)・旧大葛小学校園庭整備(6月)・分館対抗スポーツ大会(7月)・大葛温泉まつり(7月)・大葛地区合同盆踊り、カラオケ、花火大会(8月)・市ユニカール大会(10月)・大葛7集落ユニカール大会(11月)・新年祝賀会(1月)



比内あおぞら学園教養講座



分館対抗スポーツ大会(ユニカール)

12. 田代公民館

区分	事業名	開催時期
社会教育	少年 ・キッズカレッジ ・たしる学舎	5月～1月
	高齢者 ・田代公民大学（全8回）	5月～12月
	一般 ・野鳥観察会 ・花いっぱい植栽運動、 花壇コンクール（審査） ・ガーデニング講座 ・断捨離講座 ・そば打ち講座	5月 5月～11月 5月・10月 6月 8月・12月
	田代地区文化祭	11月
芸術文化	田代川柳大会（募集期間）	9月～10月
	米代川川下りカヌー体験	7月
社会体育	公民館だより（隔月）	4月～3月

田代公民館分館

分館名	主な事業名
早口一	運営委員会（随時）・地区運動会・分館祭 ・夏祭り・雪祭り・各種講座開催
早口二	運営委員会（随時）・地区運動会・分館祭 ・スポレク・各種講座開催
本郷	運営委員会（随時）・スポレク・分館祭 ・各種講座開催
岩野目	運営委員会（随時）・地区運動会・スポレク ・夏祭り・分館祭・新年会・各種講座開催
大野	運営委員会（随時）・地区運動会・分館祭 ・環境整備・各種講座開催
岩瀬	運営委員会（随時）・地区運動会・夏祭り ・分館祭・白ひげ巡行・各種講座開催
谷地の平	運営委員会（随時）・ラジオ体操・分館祭 ・スポレク・各種講座開催
赤川	運営委員会（随時）・地区運動会・サロン会 ・分館祭・環境整備・新年会・各種講座開催
越山	運営委員会（随時）・地区運動会・分館祭 ・スポレク・分館祭・各種講座開催
山田	運営委員会（随時）・地区運動会・分館祭 ・婦人祭・環境整備・各種講座開催



田代公民大学（館外研修）



野鳥観察会

[2] 市民交流センター

【運営方針】

1. 日常生活をとりまく環境が変容する中で、職場や家庭で役立つ技術や知識を習得する場としての環境を整え、学習の機会を提供し、各定期講座を開設します。
2. 各講座終了後も引き続き学習を続け、定期的な自主運営を目標としたグループの育成を支援し、その充実を図ります。
3. 市民交流センターの利用グループへの活動支援に努めます。
4. 木育ひろばを広く周知し、利用促進に努めるとともに木育事業の推進を図ります。

【重点施策】

1. 定期講座の内容充実に努め、利用拡大を図る。
 - (1) 利用者のニーズに合わせ、魅力ある講座を開設し、生活文化の向上を図る。
定期講座 3講座 募集人員 90人
 - (2) 利用者の育成、社会参加活動の促進を図る。
 - (3) 市民の健康管理と体力づくりの増進を図る。
年中行事や季節に合わせた講座の開設に努める。
短期講座 13講座 募集人員 161人

2. 利用グループの活動に対する支援
センターまつりの開催 令和6年9月13日(金)～14日(土)

3. 木育事業の推進

- (1) 木育ひろばの活用
 - ・子育て中の親子がいつでも遊べる屋内ひろばとして、幼児から高齢者まで気軽に木の温もりに直接触れてもらうことにより、木の良さや森林の大切さを感じ、木育に関心を持ってもらう。
- (2) Let's go木育ひろば(移動木育ひろば)を実施
 - ・市内小学校、保育園8施設を訪問予定

【令和5年度利用状況】

1. 月別利用者数

(単位：人)

区分/月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自主事業	59	32	61	36	6	445	10	31	0	16	0	0	696
自主グループ	542	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	542
貸館	195	731	742	718	438	585	770	734	679	568	736	810	7,706
木育ひろば	86	154	135	213	182	205	178	156	126	185	166	192	1,978
合計	882	917	938	967	626	1,235	958	921	805	769	902	1,002	10,922

2. その他

開館日数	293日
サークル数	35団体
サークル会員数	288人

【令和6年度事業計画】

1. 定期講座

事業名	開催時期	曜日	時間	回数	定員	参加費 材料費
歌活（うたかつ）	4/26、5/20	金、月	13:00～14:00	全2回	各15人	300円
初めての書道教室	8/29、9/27	木、金	10:00～12:00	全2回	各10人	500円
あぁ唱歌、童謡しちやつた講座	10/10、10/21	木、月	10:00～12:00	全2回	各20人	500円

2. 短期講座

事業名	開催時期	曜日	時間	回数	定員	参加費 材料費
絵手紙講座	4/9	火	13:30～15:00	1回	10人	500円
大人の木育講座	5/9	木	10:00～12:00	1回	10人	1,800円
「太極拳ってなぁに」	6/7	金	13:30～15:00	1回	10人	500円
脳トレカフェ	6/25	火	10:00～12:00	1回	15人	300円
ココロ癒しyoga講座	7/8	月	10:00～11:30	1回	10人	無料
秋田伝統工芸品 『組子細工講座』	7/24	水	10:00～12:00	1回	12人	大1,800円 中1,600円
池坊生け花講座	9/12	木	10:00～12:00	1回	10人	1,500円
作って遊ぼう楽しいバルーン講座	9/14	土	10:00～12:00	1回	15組	無料
「簡単パンを作ろう」	11/8	金	10:00～12:00	1回	20人	1,000円
ステンシルアート	11/26	火	10:00～12:00	1回	10人	800円
陶芸教室 (先生は高校生)	11/28	木	10:00～12:00	1回	6人	500円
漬け物講座	12/9	月	10:00～12:00	1回	10人	2,000円
米粉のスイーツ	R7.1/7	火	10:00～12:00	1回	15人	1,500円

内容や開催日が変更になる場合があります。

【利用について】

- 1.開館時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後9時
土曜日 午前9時～午後5時
- 2.休館日 日曜日・祝日・12月29日～1月3日

[3] 北地区コミュニティセンター

【所在地】 大館市有浦一丁目8番15号 0186 - 45 - 0515

【運営方針】

教養・文化・研修、並びにスポーツ等の活動の場を提供することにより、市民の学習意欲の向上と、健康増進活動推進を図ることを目的とします。

【管理運営】

平成23年に勤労者総合福祉センター（サンクレア）と職業訓練センターが統合され、平成24年4月より北地区コミュニティセンター本館・別館として始動しました。

平成30年4月1日からは、株式会社やたてが指定管理者になり、現在に至っています。
（指定管理期間：令和5年4月1日～令和10年3月31日）

【令和5年度利用状況】 65,509人

[4] 図書館・松下村塾

指定管理者 一般財団法人大館市文教振興事業団

(指定管理期間：令和5年4月1日～令和10年3月31日)

令和5年4月1日から図書館と松下村塾の一体的な指定管理者制度を導入しています。

【所在地】

栗盛記念図書館 (松下村塾)	大館市字谷地町13番地 (大館市字谷地町12番地)	0186-42-2525
花矢図書館	大館市花岡町字前田162番地3	0186-46-1557
比内図書館	大館市比内町扇田字庚申岱8番地	0186-43-7142
田代図書館	大館市早口字上野43番地1	0186-43-7127

【基本方針】

大館市立図書館では「伸びやかな知性を培う市立図書館」の施設運営理念のもと、まちや暮らしの中で市民が活躍し、ふるさと大館の文化と、次代を育む地域活力の創出の取り組みを進めていきます。

本事業団が指定管理者に選定されて2期目となりますが、今後も引き続き多種多様な読書推進事業を積極的に進め、施設の設置目的達成のため、次の4点を基本方針として事業に取り組みます。

地域の中で活かされる図書館として、地域の機関とさらに連携し、市民の読書関連活動への支援を強化します。

「飛び出す図書館司書」による学校図書館への支援・連携をさらに進め、児童・生徒の読書率の向上に寄与します。

市民一人ひとりを利用者と捉え、足を運びやすい図書館、利用しやすい図書館を目指し、人と人がつながる場を提供し、市民一人ひとりの「ものがたり」を大切にします。

多様な利用者ニーズに対応する図書館作りを目指します。

【主な読書活動推進事業等】

栗盛記念図書館（松下村塾含む）

事業名	事業内容
ボランティア図書館利用促進事業	ボランティア活動の推進を目的として、各団体に対して図書館のスペースを開放し、読書推進活動に利活用する。
おひざにだっこのおはなし会	主に乳幼児と保護者を対象に読み聞かせを定期的に行う（月1回）
大人向けおはなし会	大人を対象とした読み聞かせを定期的に行う（月1回）
特別おはなし会	幼児・児童の読書活動推進を目的に、長期休暇期間などに特別おはなし会を実施する。市内高校の図書委員会と連携した読み聞かせ会も継続する。
おはなしとしゃかん	職員による季節に応じた内容のおはなし会を実施（年1回、夏予定）
出張おはなし会事業	要望を受け施設や学校へボランティアを派遣、読み聞かせを行う。
幼保・学校支援連携事業	小・中学校へ職員（飛び出す図書館司書）を派遣し、学校図書館の整備や読書活動推進への支援を行う。幼保へは、絵本だよりの発行や要望に応じた読み聞かせボランティアの派遣などを行う。
ブックスタート事業	市福祉部健康課と連携し、5ヶ月児すこやか教室の際に絵本のプレゼント及び読み聞かせを行う。（参加できない場合は図書館でも配布する）
図書館でホットタイム	ゲスト講師による講演や鑑賞などを企画（月1回、後援会との共催）
文学講座 「紫式部日記」を読む会	元大館鳳鳴高校校長の菅原明雅氏を講師に『紫式部日記』の講読会を行う。（月2回、後援会と共催）
図書館の中のちいさな美術館	市民の作品（絵画・書・写真など）を募集し、ロビー壁面に展示することで、来館者層の広がりを図る。

図書館でビンゴ	子どもたちを対象にビンゴカードを配布し、マス毎に設定したテーマの本を読むことでビンゴを達成し、記念品を贈呈。新しい本との出会いを楽しんでもらう。
栗盛記念図書館 図書館まつり	新規利用者獲得・利用促進・読書推進をねらいとして、多種多様な読書関連イベントを開催。
古本・雑誌プレゼント	保存年限を経過した雑誌や寄贈資料のうち受け入れしなかった図書などを無償譲渡。（「図書館まつり」に実施）
第55回大館市読書感想文コンクール	15歳以上の大館市民または市にゆかりのある方を対象に読書感想文を募集。後日、審査の上、受賞者には記念品贈呈、表彰式を行う。
クリスマス工作教室	季節に合わせた工作系ワークショップを開催
文化講演会	文化人等を講師に迎えて講演会を開催（後援会との共催）
真澄に学ぶ出張教室	秋田県立博物館との共催。県立博物館職員を講師に、菅江真澄著作について理解を深めるための講話会を開く。
図書館利用支援事業	比内支援学校と連携し、学校のカリキュラムの中での図書館利用をサポートする。生徒らによるテーマ展示コーナーも作成する。
本のおたのしみ福袋	ジャンルごとに選書した本の福袋を貸し出しする。ふだん読まないジャンルの本にも触れることで読書の幅を広げ、利用者の読書意欲の増進や貸出を促進することが狙い。
地域資源活用事業	山瀬小学校で製作されているたけのこ和紙を使って、しおり作りのワークショップを行う。
高校生と楽しむ百人一首かるた	花輪かるた会との共催。小倉百人一首について学び、実際に競技かるたや坊主めくりを体験する。大館鳳鳴高校文芸部かるた班・秋田北鷹高校かるた部の生徒らによる和装での模範演技も行う。
郷土の先覚 二人の吉右衛門	栗盛記念図書館と大館市松下村塾に大きく関わった二人の吉右衛門（栗盛吉右衛門・竹村吉右衛門）にスポットをあて講演会を開催する。
ドリアン助川朗読会（仮）	作家のドリアン助川氏を招き、著書の朗読会を開催する。
朗読サークルことばのしずく朗読を楽しむ会	朗読サークルことばのしずくの会員による朗読会。日頃の活動の成果を発表する。
家族de新聞教室（仮）	秋田魁新報社大館支社との共催。記者を講師に、小学生親子を対象とした新聞づくり講座を開く。図書館見学や職員へのインタビューを行い、その内容を記事にする。
松陰読本を学ぶ	北羽歴史研究会会員の浪岡久雄氏を講師に、副読本『松陰読本』の講読会を行う。会場は大館市松下村塾。

花矢図書館

事業名	事業内容
読書感想画展示会	幼児・児童から読書感想画を募集し展示（地区文化祭）
子どもの読書週間関連事業	子どもの読書週間に合わせて、本の展示やおはなし会を開催。
真夏の怪談会	小学生対象の怪談会を行う。語り手も小中学生を対象に募集する。
団体貸出	近隣保育園（2園）と小学校へ図書を貸出
出張おはなし会事業	花岡小学校へ訪問し、職員による読み聞かせを行う。
雑誌プレゼント	保存年限を経過した雑誌をプレゼント（地区文化祭）
「花矢図書館だより」発行	新着本やおすすめ本、関連情報等を掲載し、近隣施設に配布
百人一首で遊ぼう！	地域の放課後児童なかよしクラブと連携して、百人一首大会を実施

比内図書館

事業名	事業内容
子どもの読書週間関連事業	子どもの読書週間に合わせて、本の展示などを実施。
芸術文化祭in比内図書館	工作体験、雑誌プレゼントなど（地区文化祭）
団体貸出	保育園、小学校へ図書を貸出
雑誌プレゼント	保存年限を経過した雑誌をプレゼント（地区文化祭）

田代図書館

事業名	事業内容
子どもの読書週間関連事業	子どもの読書週間に合わせて、学校で大型絵本の展示やおはなし会を開催。
訪問読み聞かせ	ボランティアと連携し、小学校への訪問読み聞かせを実施。
読書感想画コンクール	児童から読書感想画を募集しコンクールを実施。
雑誌プレゼント	保存年限を経過した雑誌をプレゼント。（地区文化祭）

【蔵書数】

(R6.3.31現在)

館名	一般書	児童書	郷土資料	その他	計
栗盛記念図書館	83,018 (83,805)	25,154 (25,197)	11,886 (11,779)	654 (879)	120,712 (121,660)
移動図書館					17,344 (17,789)
花矢図書館	8,096 (8,036)	4,037 (4,058)	1,240 (1,238)	220 (234)	13,593 (13,566)
比内図書館	23,689 (23,649)	8,664 (8,767)	1,910 (1,896)	140 (138)	34,403 (34,450)
田代図書館	32,275 (32,525)	12,404 (12,343)	2,223 (2,221)	148 (148)	47,050 (47,237)

栗盛記念図書館では真崎文庫(古文書) 2,099点を所蔵 ()は、昨年度末の数値

【令和5年度利用状況】

栗盛記念図書館

入館者数

109,537 人

月別	開館日数	館外貸出冊数		1日平均	
		冊数	人数	冊数	人数
4	26	9,102	2,286	350	88
5	26	8,812	2,245	339	86
6	26	8,940	2,274	344	87
7	27	9,417	2,264	349	84
8	27	9,145	2,276	339	84
9	26	8,766	2,171	337	84
10	22	7,978	1,983	363	90
11	26	8,691	2,210	334	85
12	24	9,092	2,175	379	91
1	24	9,271	2,223	386	93
2	24	9,701	2,434	404	101
3	27	10,169	2,489	377	92
計	305	109,084	27,030	358	89
移動図書館		22,809	3,363	(稼働日数202日)	

10月は整理期間のため開館日減少

花矢図書館 入館者数 4,601 人

月別	開館日数	館外貸出冊数		1日平均	
		冊数	人数	冊数	人数
4	25	1,208	274	48	11
5	23	1,042	262	45	11
6	26	1,085	257	42	10
7	26	979	264	38	10
8	26	951	247	37	10
9	25	914	220	37	9
10	26	945	228	36	9
11	24	915	225	38	9
12	24	939	220	39	9
1	24	927	230	39	10
2	23	1,023	241	44	10
3	26	1,075	271	41	10
計	298	12,003	2,939	40	10

比内図書館 入館者数 15,527 人

月別	開館日数	館外貸出冊数		1日平均	
		冊数	人数	冊数	人数
4	25	3,514	787	141	31
5	23	3,011	683	131	30
6	26	3,009	690	116	27
7	26	3,151	716	121	28
8	26	3,332	752	128	29
9	25	2,989	727	120	29
10	26	3,230	722	124	28
11	24	3,614	804	151	34
12	24	3,709	764	155	32
1	24	3,429	703	143	29
2	23	3,406	779	148	34
3	26	3,582	796	138	31
計	298	39,976	8,923	134	30

田代図書館 入館者数 6,595 人

月別	開館日数	館外貸出冊数		1日平均	
		冊数	人数	冊数	人数
4	25	1,038	280	42	11
5	23	1,091	262	47	11
6	26	1,248	289	48	11
7	26	1,116	286	43	11
8	26	1,128	253	43	10
9	25	1,155	260	46	10
10	26	1,161	285	45	11
11	24	1,194	308	50	13
12	24	1,228	284	51	12
1	24	1,117	264	47	11
2	23	1,212	301	53	13
3	26	1,154	298	44	11
計	298	13,842	3,370	46	11

有効登録者数は4館 26,284人

[5] 少年相談センター

【基本方針】

社会環境の変化に伴い多様化・複雑化している青少年の問題行動・動向を的確に把握し、青少年自身や保護者・関係者からの相談に対応するとともに、青少年健全育成の拠点となって街頭指導や巡回を実施し、非行防止や環境浄化に努めることにより、青少年の健全育成を図ります。

【活動状況】

現在、相談専門員兼所長1名、少年指導・相談員1名、少年指導員28名で相談業務及び街頭指導・巡回活動を行っています。

令和5年度は、延べ194人の少年指導員により街頭指導・巡回活動等を行いました。また相談業務は来所、電話を合わせて413件あり、関係機関と連携を図りながら対応することにより、少年の健全育成及び非行防止に努めています。

[6] 児童育成施設

1. 桂城児童センター

【活動内容】

児童の健康増進と情操を豊かにすること、併せて留守家庭児童の保護育成に資することを目的とした「児童仲良しクラブ」、運動ぎらいまたは体力に自信の無い子などを指導する「学童スポーツクラブ」を開催しています。

その他、任意利用者による習字クラブや、体操サークルなどを行っています。

(R5)

ク ラ ブ 名	指導者	クラブ人数	開催数	利用者数	備 考
学童スポーツ	1人	41人	57回	999人	1年～2年
児童仲良し	4人	91人	290回	19,656人	1年～6年
任意利用			91回	1,302人	習字サークル・体操・ 幼児通級指導教室
合 計				21,957人	

2. 釈迦内児童センター

【活動内容】

児童の健康増進と情操を豊かにすること、併せて留守家庭児童の保護育成に資することを目的とした「児童仲良しクラブ」、運動ぎらいまたは体力に自信の無い子などを指導する「学童スポーツクラブ」を開催しています。

その他、地域住民にセンターを開放し、利用団体によるクラブを通じた子育てを目指しています。

(R5)

ク ラ ブ 名	指導者	クラブ人数	開催数	利用者数	備 考
学童スポーツ	1人	22人	50回	478人	1年～3年
児童仲良し	4人	60人	289回	10,253人	1年～6年
合 計				10,731人	

3. 城西児童センター（城西小学校併設）

【活動内容】

城西児童センターは、学校と地域が連携した児童育成を進めるための施設として小学校に併設され運営されています。

児童の健康増進と情操を豊かにすること、併せて留守家庭児童の保護育成に資することを目的とした「児童仲良しクラブ」、運動ぎらいまたは体力に自信の無い子などを指導する「学童スポーツクラブ」、親子で遊びを通じて体力づくり、仲間づくりを目的とする「幼児スポーツクラブ」を開催しています。

また、学校とセンターを地域住民に開放し、利用団体によるクラブを通じた子育てを目指しています。

(R5)

ク ラ ブ 名	指導者	クラブ人数	開催数	利用者数	備 考
幼児スポーツ(パルコクラブ)	1人	2組	16回	91人	1歳児～3歳児と親
学童スポーツ	1人	55人	90回	1,420人	1年～3年
児童仲良し	4人	87人	290回	15,083人	1年～6年
任意利用			101回	700人	ユニカール
合 計				17,294人	

4．有浦児童会館

【活動内容】

児童の健康増進と情操を豊かにすること、併せて留守家庭児童の保護育成に資することを目的とした「児童仲良しクラブ」を実施しています。平成19年11月に改築し、夜間や休日に軽スポーツのための貸館業務を行っています。

(R5)

ク ラ ブ 名	指導者	クラブ人数	開催数	利用者数	備 考
児童仲良し	4人	85人	288回	14,701人	
一般利用			426回	2,667人	貸館
合 計				17,368人	

5．有浦児童会館分館

【活動内容】

児童の健康増進と情操を豊かにすること、併せて留守家庭児童の保護育成に資することを目的とした「児童仲良しクラブ」を実施しています。

(R5)

ク ラ ブ 名	指導者	クラブ人数	開催数	利用者数	備 考
児童仲良し	4人	71人	286回	10,587人	
合 計				10,587人	

6．城南児童会館

【活動内容】

児童の健康増進と情操を豊かにすること、併せて留守家庭児童の保護育成に資することを目的とした「児童仲良しクラブ」を実施しています。

(R5)

ク ラ ブ 名	指導者	クラブ人数	開催数	利用者数	備 考
児童仲良し	5人	68人	289回	10,752人	
一般利用			20回	237人	幼児通級指導教室
合 計				10,989人	

5. 社会教育関係団体とその活動

(1) 子ども会育成連合会

25単位子ども会と900名の会員で組織され、子どもの健全な育成を目的に、世話人育成者研修会、子ども会リーダー養成野外研修、子ども会大会や子ども会ニュース発行などを行っています。

(2) 大館市連合婦人会

会員約1,900人で組織され、令和6年度は組織の強化運動、健康促進対策、環境保全・公害対策、消費者教育・消費者運動の強化、明るい社会づくり運動、防災意識の強化などを重点目標として掲げ、大文字まつりなど、市のイベントへの協力を展開しています。

(3) PTA連絡協議会

小学校17校及び中学校8校のPTA相互の連絡調整と交流・研修を図り、児童・生徒の健全育成と学校教育振興に協力する目的で組織しています。

(4) 青少年問題協議会

青少年健全育成のための総合的な施策を樹立するために必要な事項を調査・審議し、その施策の適切な実施のために関係機関と連携調整を図ることを目的として設置された機関であり、関係行政機関の職員、関係団体の代表者及び学識経験者により組織されています。

(5) 青少年育成大館市民会議

青少年の健全な心身の育成と、安心で安全な環境づくりのために、学校や企業、町内会等、地域に密着した幅広い団体で組織された団体であり、シンポジウムや啓発運動など、青少年の健全育成を図るための諸活動を展開しています。

(6) 大館市芸術文化連盟

大館市の芸術文化の創作発展に寄与している27団体が加入し、芸術文化祭のいけ花展・茶会・俳句大会・書写展などを開催し、芸術文化の向上と参画団体の育成に努めています。

(7) 大館市田代地区芸術文化協会

8団体で構成しており、田代地域の住民を対象に芸術文化祭を開催し、地域住民の芸術作品展示や芸能発表及び郷土の伝統芸能の保存、芸術文化の高揚、実践発表の機会を提供しながら、組織団体の育成に努めています。

(8) 比内町芸術文化協会

4団体と14名の個人会員で組織しており、比内地域の芸術文化祭の開催、会報誌「芸林比内」の発刊、文化講演会の開催など文化のかおり高い町づくりを目指し、芸術文化の振興と組織団体の育成に努めています。

(9) 大館地区少年保護育成委員会、比内地区少年保護育成委員会

少年の非行防止及び犯罪被害から守るためのボランティア活動を行う委員で組織された団体であり、警察署と連携して街頭指導や非行防止に関わる啓発活動等を行うことにより、青少年の健全育成に努めています。

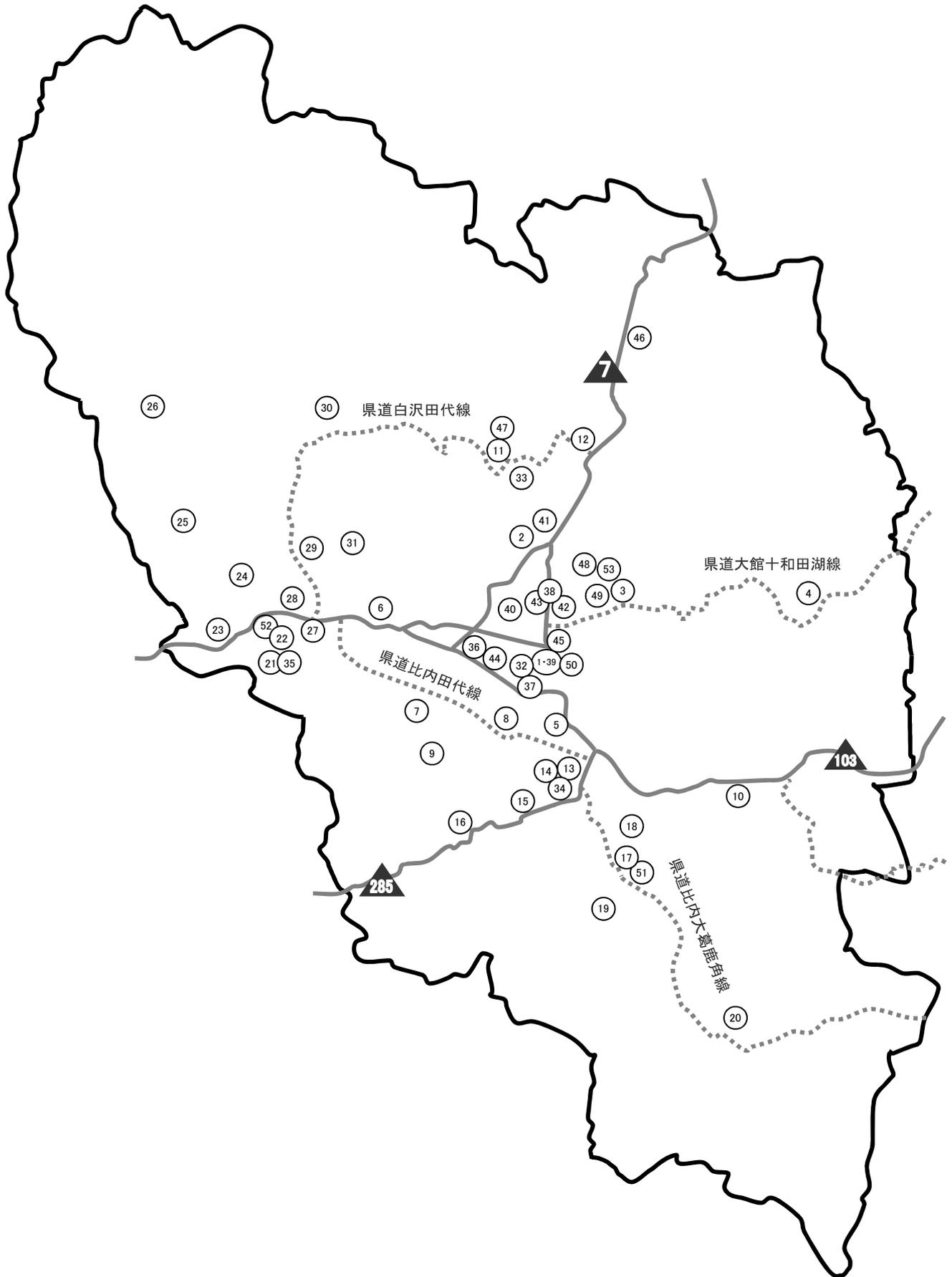
(10) おおだてロボット人材育成コンソーシアム

ロボットコンテストを通じてものづくりの楽しさを子どもたちに伝え、将来故郷で活躍する人材を育成することを目的として組織しています。

(11) Odate Marching Band “TEDAOLE”

地域のイベント等に参加しマーチングの魅力を伝えるとともに、他団体との交流を積極的に行い、団員の音楽水準の向上を図り、地域の音楽活動の発展に努めています。

6 . 社会教育施設所在地



番号	施設名	所在地
①	中央公民館	大館市字桜町南 45-1
②	釈迦内公民館	大館市釈迦内字上大留 6
③	長木公民館	大館市上代野字八幡岱 24-1
④	長木公民館 雪沢分館	大館市雪沢字上谷地 55-3
⑤	上川沿公民館	大館市池内字大出 135
⑥	下川沿公民館	大館市川口字隼人岱 108-55
⑦	真中公民館	大館市出川字上野 30
⑧	二井田公民館	大館市二井田字高村 1
⑨	二井田公民館 麓西分館	大館市比内前田字下前田 8
⑩	十二所公民館	大館市十二所字元館 1-1
⑪	花岡公民館	大館市花岡町字前田 102-3
⑫	矢立公民館	大館市白沢字白沢 1149
⑬	比内公民館	大館市比内町扇田字庚申岱 8
⑭	比内公民館 扇田分館	大館市比内町扇田字庚申岱 8
⑮	比内公民館 西館分館	大館市比内町達子字曲谷地 62-7
⑯	比内公民館 八木橋分館	大館市比内町八木橋字畠沢岱 16
⑰	比内公民館 東館分館	大館市比内町独鈷字小館下 18-2
⑱	比内公民館 味噌内分館	大館市比内町味噌内字鬼ヶ沢 10
⑲	比内公民館 三岳分館	大館市比内町中野字上客路橋 17
⑳	比内公民館 大葛分館	大館市比内町大葛字大葛家後 74-3

番号	施設名	所在地
㉑	田代公民館	大館市早口字上野 43-1
㉒	田代公民館 早口一分館	大館市早口字上野 55 - 8
㉓	田代公民館 早口二分館	大館市長坂字宝田岱 33-35
㉔	田代公民館 本郷分館	大館市早口字上屋敷 66-2
㉕	田代公民館 岩野目分館	大館市早口字岩野目 22
㉖	田代公民館 大野分館	大館市早口字大野 1-4
㉗	田代公民館 岩瀬分館	大館市岩瀬字大柳 95-6
㉘	田代公民館 谷地の平分館	大館市早口字深沢岱 40-4
㉙	田代公民館 赤川分館	大館市岩瀬字赤川 20
㉚	田代公民館 越山分館	大館市岩瀬字越山向岱 77-5
㉛	田代公民館 山田分館	大館市山田字寺下 42
㉜	栗盛記念図書館	大館市字谷地町 13
㉝	花矢図書館	大館市花岡町字前田 162-3
㉞	比内図書館	大館市比内町扇田字庚申岱 8
㉟	田代図書館	大館市早口字上野 43-1
㊱	市民交流センター	大館市根下戸新町 6-13
㊲	松下村塾	大館市字谷地町 12
㊳	北地区コミュニティセンター	大館市有浦一丁目 8-15
㊴	少年相談センター	大館市字桜町南 45-1
㊵	桂城児童センター	大館市水門町 1-5
㊶	釈迦内児童センター	大館市釈迦内字相染台 24
㊷	有浦児童会館	大館市有浦四丁目 6-43
㊸	有浦児童会館分館	大館市有浦一丁目 8-33
㊹	城西児童センター	大館市城西町 8-1
㊺	城南児童会館	大館市字桜町 7-2
㊻	長走風穴館	大館市長走字長走 362-6
㊼	鳥潟会館	大館市花岡町字根井下 156
㊽	大館郷土博物館	大館市釈迦内字獅子ヶ森 1
㊾	ニプロハチ公ドーム	大館市上代野字稻荷台 1-1
㊿	ほくしか鹿鳴ホール	大館市字桜町南 45-1
51	民舞伝習館	大館市比内町独鈷字大日堂前 10
52	小畑勇二郎記念館	大館市早口字堤沢 15-37
53	秋田三鶏記念館	大館市釈迦内字獅子ヶ森 1

第6編 文化財・芸術文化

1. 文化財保護の概要

本市には、国指定文化財7件、県指定文化財19件、市指定文化財45件、国登録文化財1件の計72件の指定、登録文化財があります。

国指定のうち6件は天然記念物であり、大館が誇る自然の宝です。また、国指定重要文化財の八幡神社、国登録文化財の桜櫓館や、県指定の矢石館遺跡、矢立廃寺跡、北鹿ハリストス正教会聖堂、鳥潟会館など数多い文化財は、先人の知恵と技と努力の証であり、大館の歴史を語る貴重な資料です。

未指定の文物や伝え残されたものを含めて、これらの保護と保存を図り将来に継承することは、現代に生きる我々に託された重大な使命であります。

歴史文化課は、これら文化財の調査、研究、保存、展示、啓発などを通じ、市民の学習意欲に応えるよう運営機能の充実に努めるとともに、大館の歴史と文化を正しく継承し、大館の地に生きた先人の努力を顕彰し、認識してもらうため、文化財の積極的な保護と保存、学習機会の提供に努めています。



大館八幡神社・正八幡宮(手前)、若宮八幡宮(奥)



芝谷地湿原植物群落・モウセンゴケ

2. 芸術文化振興の概要

生活にゆとりや豊かさが求められる時代となり、市民の芸術文化に対する関心と創造意欲はますます高まってきています。

芸術文化は、文化的な市民生活に欠かせないものであり、行政の役割として、芸術文化活動への支援と、それを長期的に継続発展できるよう、基盤整備することが望まれています。

また、芸術文化が気軽に受け入れられるよう、幼少時から鑑賞教育、普及活動等を行い、誰もが身近に感じられる親しみやすいものにする必要があります。

今後は、地域に根ざした創造活動を活発化するとともに、活動団体の育成を図り、伝統と創造が調和する地域づくりを推進していきます。



福田豊四郎作「闘犬の日」

3. 各施設の概要

(1) 大館郷土博物館

大館の自然環境の中で、先人たちがいかに歩んできたのかということ、自然と産業、歴史、民俗、美術工芸の分野から紹介するとともに、そこから生まれてきた風土、文化を多くのかたに伝え、理解していただくために、平成8年4月25日に開館しました。

平成9年には、子どもたちの科学への興味を育む施設として、「こども科学室」を開設しました。同時に大館少年少女発明クラブを博物館活動の一環として運営しています。

平成12年4月25日には「曲げわっぱ展示室」を開設し、曲げわっぱをはじめとする工芸品を展示しています。

また、平成30年には耐震補強工事を実施しました。

【所在地】 大館市釈迦内字獅子ヶ森1番地 0186 43 7133

【運営方針】

市民が生涯学習施設として博物館を利用できるよう、施設の整備・充実を図ります。また、文化財保護思想の普及と、文化財の保護と活用に努めます。

【重点施策】

- 1 施設の整備・充実を図る。
 - ア 郷土に関する調査・研究と資料収集を促進し、展示内容を充実する。
 - イ 特別展示室を有効活用するため、企画展示を実施する。
- 2 文化財の保護及び利活用を促進する。
 - ア 天然記念物整備活用事業の促進と施設等の利活用体制を整備する。
 - イ 文化財の調査と紹介を図るとともに新たな資料の収集に努める。

【施設概要】 敷地総面積 30,345.00 m²
建物延床面積 6,015.90 m²
(展示館 1,453.95 m²、美術工芸展示室 456.22 m²、収蔵庫 1,233.23 m²、
貴重品収蔵庫 74.38 m²、こども科学室 610.56 m²、曲げわっぱ展示室 162.00 m²)
駐車場 50台

【開館】

- 1 開館時間 午前9時00分～午後4時30分（入館は午後4時まで）
- 2 休館日 月曜日（この日が祝日の場合は翌平日）
年末年始

【令和5年度利用状況】

- 1 開館日数 309日
- 2 入館者数 3,651人

(2) 鳥瀧会館

鳥瀧家は慶長年間から400年余の歴史をもつ旧家であり、花岡村で代々肝煎を務めてきました。8,000㎡を超える広大な敷地に建つ建物及び庭園は、元京都帝国大学名誉教授(医学部長・日本外科学会会長)の鳥瀧隆三博士によって京風の意匠が取り入れられ、現在のかたちに整備されたものです。

主屋は昭和11年に増改築上棟式が行われ、新座敷、離れ、2階茶室などに京風の意匠が取り入れられました。旧屋部分は、ちょうな削りの柱が多数見られるなど改築前の旧材がいたるところで使用されているのが特徴です。庭園は同時期に京都の名門庭師、植治7代目小川治兵衛の門弟であった粕谷幸作が作庭しています。回遊式庭園であり、池を中心とした地割がよく計画され、石組にも京風の手法が見られます。各地から吟味された良材が取り寄せられ、幅3mを超える鞍馬石や直径1mを超える伽藍石などが使用されています。表門や中門などの建造物には、京都を中心に活躍した成行兼太郎が大工棟梁として携わっています。

昭和26年に当時の花岡町へ寄贈され「鳥瀧会館」として一般の使用に開放、昭和54年9月「郷土資料庫」を併設しました。

平成23年3月には、鳥瀧会館(旧鳥瀧家住宅)の建造物8棟が秋田県指定文化財(有形文化財)に、庭園が秋田県指定名勝にそれぞれ指定されました。

【所在地】 大館市花岡町字根井下156番地 0186 46 1009

【施設概要】 敷地面積 8,191.08㎡
建物面積 791.40㎡

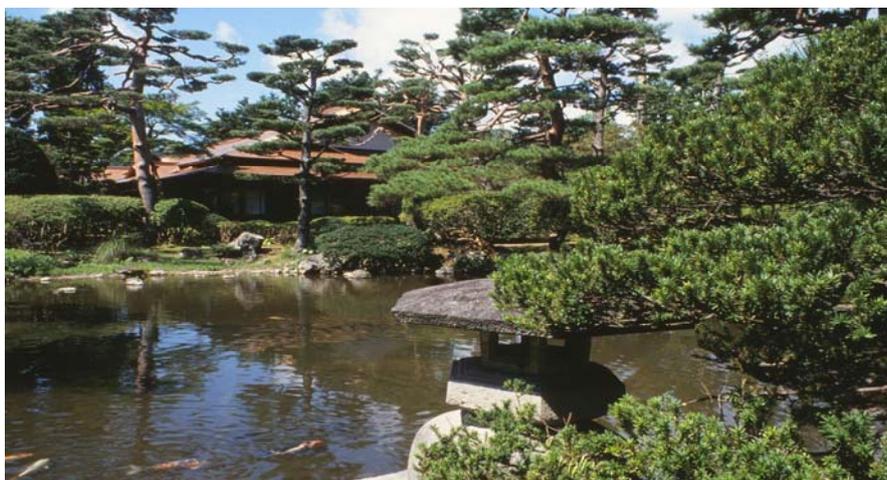
(主屋(大広間、和室仏間、台所、茶室(2F)、離れ化粧室 ほか)、
四阿、茶室、茶室待合、社殿、表門、中門、郷土資料庫(土蔵)、庭園)

【収容人員】 約80名

【開館】

- 1 開館時間 午前9時～午後5時(11月～3月は午前9時～午後4時)
- 2 休館日 毎週月曜日(この日が祝日の場合は翌平日)
年未年始

【令和5年度利用状況】 3,328人



(3) 長走風穴館

長走風穴は、国内有数の風穴の不思議を体感できるエコミュージアムです。館内には、展示パネル、ミニシアター、情報コーナーなどがあり、夏季は風穴から引き込んだ天然の冷気で全館を冷房しています。3階から屋外の散策路に出ると、高山植物群落（国指定天然記念物）や風穴倉庫（跡）を見学できます。

平成7年度から3カ年で文化庁の天然記念物整備活用補助事業で建設し、平成10年4月3日から公開しています。平成29年度には観光庁の訪日外国人旅行者受入基盤整備事業費補助金で、建物の改修、展示替え（多言語化）を行い、平成30年4月1日にリニューアルオープンしました。

【所在地】 大館市長走字長走362番地6 0186 51 2005

【施設概要】 敷地面積 2,057.19 m²
建物面積 404.55 m²
風穴倉庫(見学用)85.12 m²、風のふしぎ(廊下)45.18 m²
1階展示室173.34 m²、中2階情報コーナー67.32 m²
2階展示室33.59 m²
建築構造 木造一部鉄筋コンクリート2階建

【開館】

- 1 開館期間 4月1日～11月30日（冬季は閉鎖）
- 2 開館時間 午前9時30分～午後4時30分
- 3 休館日 毎週月曜日（この日が祝日の場合は翌平日）
ただし、6～8月は休館日なし

【入館料】 無料

【令和5年度利用状況】 9,148人



(4) 民舞伝習館

民舞伝習館は、農村の伝統、郷土芸能、民俗資料の保存伝習を目的として昭和55年に設置しました。1階展示室には、かつてこの地を治めた浅利氏にまつわる資料や、隣接する大日神社に奉納された貴重な文化財を展示しています。中でも十狐(とっこ)城主浅利則頼公が愛用したと言われる「琵琶」(市指定文化財)や大日神社に奉納された県内最古ともいわれる「絵馬額」(市指定文化財)などが目を引きまします。2階は、地元の郷土芸能である「独鈷囃子」(市指定無形文化財)の伝習の場となっています。

周辺一帯は、多くの史跡が残っていて、この施設は散策路のビジターセンター的な役割を果たしています。

【所在地】 大館市比内町独鈷字大日堂前10番地 0186 56 2312

【施設概要】 敷地面積 660.00 m²
建物面積 354.89 m²
(事務室、資料室、研修室(舞台付) 控室、納戸)

【開館】

- 1 開館時間 資料室 午前9時～午後4時
研修室 午前9時～午後9時
- 2 休館日 月曜日(この日が祝日の場合は翌平日)、年末年始

【令和5年度利用状況】 160人



(5) 小畑勇二郎記念館

小畑勇二郎(1906～1982)は当時の早口村に生まれ、秋田中学卒業後、代用教員、早口村役場吏員を経て秋田県庁に入庁しました。税・財務畑で活躍後、42歳で民生部長に抜擢され、昭和26年には知事選立候補のため退職し、秋田市助役を経て昭和30年から連続6期秋田県知事を務めました。

八郎潟干拓、稲の早期栽培など抜本的な農業改革と振興策に多大な功績があったほか、秋田大学医学部の誘致、脳血管研究センターの開設、全国に先駆けて生涯学習の重要性を提唱するなど多方面に業績を残しています。

本記念館は、昭和59年、有志が寄付を募って建設したのち、当時の田代町に寄贈したもので、勇二郎の生い立ち、業績、趣味など、勇二郎活躍の背景を理解するうえで貴重な展示施設となっています。

【所在地】 大館市早口字堤沢15番地37 0186 54 2230

【施設概要】 敷地面積 920.14 m²
建物面積 279.54 m²
(展示室、ホール、研修室、事務室)
建物構造 木造一部2階建て銅板葺

【管理運営】 指定管理者 株式会社友愛ビルサービス
(指定管理期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日)

【開館】
1 開館時間 午前9時～午後4時30分
2 休館日 月曜日(この日が祝日の場合は翌平日)、年末年始

【令和5年度利用状況】 149人



(6) 秋田三鶏記念館

秋田三鶏記念館は、国指定天然記念物声良鶏、比内鶏及び県指定天然記念物金八鶏(以上を総称して秋田三鶏)の保護と継承を目的として、平成22年に設置しました。

秋田三鶏は秋田県の県北、特に米代川中流域の大館地方で古くから飼われ、親しまれてきた家禽です。この秋田三鶏の増殖を図り、天然記念物としての血統を守り、多くの人々に秋田三鶏を知ってもらうために建設したものです。

記念館では、3月から7月にかけて孵化作業を行い、秋田三鶏の増殖を図るとともに、成鶏を飼育、一般公開し、各種資料の展示も行っています。

【所在地】 大館市釈迦内字獅子ヶ森1番地(大館郷土博物館隣)
0186 43 7133(大館郷土博物館)

【施設概要】 敷地面積 159.74 m²
建物面積 142.43 m²
(作業室、^ひ孵卵室、育雛室、飼育室)



【開館】
1 開館期間 4月1日から11月30日まで
(冬季は閉館)
2 開館時間 午前9時から午後4時30分まで
3 休館日 月曜日(この日が祝日の場合は翌平日)
4 見学料 無料

【令和5年度利用状況】 1,002人

(7) 比内町郷土民俗資料館

秋田県内でも有数の穀倉地帯である比内地域にふさわしく、農具(万石・千歯こき・杵すり器・唐箕)など330点余りが展示されています。機械化が進んだ現在の農業と比較し、当時の農業がいかに重労働であったかが偲ばれます。民家コーナーには囲炉裏を囲む老夫婦の彫刻を配し、てどり・飯台・水がめ・タンス・衣類などを展示し、昔の農家を復元しています。

昭和55年4月1日開館、平成21年4月1日比内公民館内移転、リニューアルオープン。

【所在地】 大館市比内町扇田字庚申岱8番地
(大館市立比内公民館内 TEL0186-43-7141)

【施設概要】 施設面積 142.43m²(展示室)

【開館】
1 開館時間 午前9時から午後5時まで
2 休館日 第3月曜日、年末年始



(8) 大館市民文化会館

昭和57年の開館以来、文化芸術を通じて豊かで潤いのある市民生活に貢献することを目指してきた大館市民文化会館は、令和元年度にネーミングライツ(命名権)を導入し「ほくしか鹿鳴ホール」と愛称が付けられました。

所在地 大館市字桜町南45番地1 0186 49 7066

運営方針

文化芸術を通じて豊かで潤いのある市民生活に貢献するため、次の4項目に重点を置いて市民文化会館の管理運営にあたります。

- 1 多彩で良質な鑑賞機会と参加機会を市民に提供し、文化芸術の普及と振興を図ること。
- 2 子どもたちへの積極的な働きかけにより、次世代の文化の担い手の育成を図ること。
- 3 多面的な市民との関わりを通じて、文化芸術による社会的包摂を推進すること。
- 4 会館内外の機能の充実を図り、利用者の利便と快適性の向上を図ること。

本年度の目標

- 1 良質な鑑賞機会を提供する。

費用対効果を考慮しながらも、可能な限り多くの良質な鑑賞プログラムを提供する。このため、主催事業以外にも共催等による公演誘致に努め、各種公的助成の活用を図る。

- 2 市民との連携・協力を努めるとともに、市民の学習・参加機会を提供する。

地域文化振興に資するため、市民参加型事業や文化芸術環境づくり事業を推進する。ダンスや楽器等各種ワークショップ「ピアノマラソン」や「もくもくひろば」などの市民参加型事業を継続し、市民の文化芸術活動を支援する。

- 3 情報発信の最大化を追求する。

「桜町通信(さくらまちだより)」などの独自のツールをはじめ、インターネット、各種メディア等による広域的な情報発信を行う。また、友の会会員や公演時の来場者アンケートなどにより、市民からの不断の意見聴取とニーズの把握に努める。

- 4 施設等の整備を推進する。

大館市との連携協力のもと施設・設備等の整備に努め、安全確保と快適な利用空間づくりを図る。またコロナ禍における利用者ニーズや利用形態の変化に対応し、安心安全な施設づくりに努める。



『大館やわらかクラシックコンサート』(令和5年10月)

施設の概要

敷地面積	建物面積	規		模	
		室名	面積	備考	
18,357.00 m ²	6,381.70 m ²	大ホール	舞台	560 m ²	1,206 席
			客席	760 m ²	(一般席 1,198 席)
			ホワイエ	487 m ²	(母子席 4 席)
					(車椅子席 4 席)
		中ホール	舞台	150 m ²	416 席
			客席	278 m ²	(一般席 414 席)
			ホワイエ	121 m ²	(車椅子席 2 席)
		第1会議室	65 m ²	(洋室) 定員 20 名	
		第2会議室	50 m ² (30 畳)	(和室) 定員 36 名	
		第1練習室	56 m ²	(洋室) 定員 24 名	
		第2練習室	56 m ²	(洋室) 定員 24 名	
		第3練習室	68 m ²	(洋室) 定員 42 名	
		リハーサル室	93 m ²		
		展示室	215 m ² (65 坪)		
その他	3,422 m ²				
駐車場		駐車台数 約 220 台			

利用状況

(単位：人)

年度 区分	R1	R2	R3	R4	R5
大ホール	43,615	13,523	25,196	27,615	30,776
中ホール	14,888	5,185	9,969	11,643	11,541
展示室	6,017	4,479	13,139	12,396	13,689
その他	12,666	6,546	8,675	10,060	8,984
合計	77,186	29,733	56,979	61,714	64,990

指定管理者：一般財団法人 大館市文教振興事業団

ネーミングライツ・パートナー：株式会社 北鹿



『K・DANCE COMPANY ファミリー発表会』(令和5年11月)

4. 指定文化財一覧

指定区分	種別	名称	指定年月日	所在地	管理者
国	建造物	八幡神社 2棟	平 2. 3.19	大館市	(宗)八幡神社
	天然記念物	長走風穴高山植物群落	第1次指定 大15. 2.24 第2次指定 昭 6.10.23	大館市長走	大館市
		芝谷地湿原植物群落	昭11. 9. 3	大館市釈迦内	大館市
		秋田犬	昭 6. 7.31		秋田県
		ザリガニ生息地	昭 9. 1.22	大館市	大館市
		声良鶏	昭12.12.21		秋田県
		比内鶏	昭17. 7.21		秋田県
県	建造物	北鹿ハリストス正教会聖堂 1棟	昭41. 3.22	大館市曲田	(宗)日本ハリストス正教会教団
		鳥瀧会館(旧鳥瀧家住宅) 8棟	平23. 3.22	大館市花岡町	大館市
	絵画	絹本阿弥陀来迎図	昭35.12.17	大館市比内町	個人
	工芸	太刀 無銘伝一文字成宗	昭40. 2.23	大館郷土博物館	大館市
		刀 銘大和太掾藤原正則	昭46. 7.17	大館市十二所	個人
		脇差 銘粟田口一竿子入道忠綱彫同作	昭30. 1.24	大館市	個人
		小柄1本 金銀地杓目鍛 銘 正阿弥伝兵衛	昭38. 2. 5	大館市十二所	個人
		鐔1枚 竹林猛虎の図 銘 秋田住重具	昭38. 2. 5	大館市十二所	個人
		刀 無銘 伝直江志津	昭40. 2.23	大館市	個人
	書跡・典籍	菅江真澄著作 46点	昭33. 2.13	市立栗盛記念図書館	大館市
		手柄岡持自筆作品・関係資料22点のうち3点	平30. 3.16		
	考古資料	鋒形石器 2個	平 5. 4. 9	大館郷土博物館	大館市
		塚ノ下遺跡出土土偶 1点	平23. 3.22	大館郷土博物館	大館市
	歴史資料	浄應寺方便法身尊形	令 6. 3.22	大館市字大館	浄應寺
	史跡	矢石館遺跡	昭28. 3.10	大館市早口	個人
		矢立廃寺跡	昭34. 1. 7	大館市白沢	大館市
		安藤昌益墓	平24. 3.23	大館市二井田	個人
	名勝	鳥瀧会館(旧鳥瀧家住宅)庭園	平23. 3.22	大館市花岡町	大館市
	天然記念物	金八鶏	昭34. 1. 7		大館市
市	建造物	武家門	昭51. 1.20	大館市比内町	個人
	絵画	絵馬額 2枚	昭48.10.11	大館市比内町	(宗)大日神社
		観経曼荼羅 1幅	昭54. 7.20	大館市比内町	(宗)正覚寺
		釈迦涅槃絵	昭54. 7.20	大館市比内町	(宗)正覚寺
		花鳥 1幅 佐竹義文	昭54. 7.20	大館市比内町	個人
		花鳥 双幅 戸村後草園	昭54. 7.20	大館市比内町	個人
		聖像画(イコン) 19点	平 3. 9. 3	大館市曲田	(宗)北鹿ハリストス正教会
		釈迦涅槃図 紙本彩色1軸	平 3. 9. 3	大館市十二所	(宗)長興寺
	彫刻	大日如来像 木造 1軀	昭48.10.11	大館市比内町	(宗)大日神社
		十一面千手観音菩薩像 木造 1軀	昭48.10.11	大館市比内町	(宗)大日神社
		四天王像 木造 4軀	昭48.10.11	大館市比内町	(宗)大日神社
		不動尊像 木造 1軀	昭48.10.11	大館市比内町	(宗)大日神社
		毘沙門十王像 木造 10軀	昭48.10.11	大館市比内町	(宗)大日神社
		延命地藏菩薩 木造 1軀	昭59.12.10	大館市	(宗)玉林寺
		虚空蔵菩薩 青銅造 1軀	昭59.12.10	大館市花岡町	繫沢集落
		放光王地藏菩薩座像 青銅造 1軀	平13. 3. 5	大館市	(宗)一心院
	工芸	脇差 銘出羽住忠秀	昭52. 3.22	大館市	大館市
		刀 銘来国俊	昭52. 3.22	大館市	個人
		太刀 銘京都住人菅原国長	昭52. 3.22	大館市十二所	個人
		琵琶 1基	昭54. 7.20	大館市比内町	(宗)大日神社
		鰐口 1口	昭54. 7.20	大館市比内町	(宗)大日神社
		赤絵茶壺 1個 長康亭道三	昭54. 7.20	大館市比内町	個人
		刀 銘出羽住正近	昭55. 3. 4	大館市	個人

指定区分	種別	名称	指定年月日	所在地	管理者
市	書跡・典籍	十二所土族屋敷絵図 1軸	昭54. 3.29	大館郷土博物館	大館市
		鸞斎書「六曲一双屏風」1双	昭56. 3.30	大館郷土博物館	大館市
		扁額「十二天」 1面	平 3. 9. 3	大館市十二所	十二所神明社
		真崎文庫 2, 078点	平17. 9. 1	市立栗盛記念図書館	大館市
	考古資料	大型ナイフ形石器 6個	平 4. 6.15	大館郷土博物館	大館市
		壺(珠洲焼) 3個	平 4. 6.15	大館郷土博物館	大館市
	民俗芸能	山田獅子踊り	平 6. 5.31	大館市山田	山田獅子踊り保存会
		蛭沢獅子踊り	平 6. 5.31	大館市岩瀬	蛭沢獅子踊り保存会
		代野番楽	平 6. 5.31	大館市岩瀬	代野番楽保存会
		田代岳の岳参り作占い行事	平 7. 3.17	大館市田代岳	田代山神社
		独鈷囃子	平12.12. 6	大館市比内町	独鈷囃子保存会
		大館囃子	平13. 8.29	大館市	大館ばやし保存会
	史跡	道標石 1基 達子森下	昭53. 6.15	大館市比内町	個人
		道標石 1基 川久保	昭53. 6.15	大館市比内町	個人
		道標石 1基 味噌内	昭53. 6.15	大館市比内町	個人
		板沢一里塚 1対	平元. 3. 3	大館市板沢	大館市
		けら木森一里塚 1基	平元. 3. 3	大館市二井田	大館市
		十二所城代茂木家墓地	平 3. 9. 3	大館市十二所	(宗)長興寺
		長坂一里塚	平15. 7. 7	大館市長坂	個人
		松峰山信仰遺跡群	平21. 5. 1	大館市松峰	松峰部落会外
	天然記念物	出川の櫨	昭53. 3.13	大館市出川	出川集落
御神木の櫨、イチイ		平 7. 3.17	大館市岩瀬	大館市	

5. 登録文化財

登録区分	種別	名称	登録年月日	所在地	管理者
国	建造物	桜櫓館(旧桜場文蔵邸)	平11. 7. 8	大館市	大館市

6. 名園・名木一覧

庭園の部

番号	指定園	所在地	所有者等
1	宗福寺庭園(雨香庭)	大館市豊町1-4	(宗)宗福寺
2	温泉寺庭園	大館市二井田字鬻ノ里33	(宗)温泉寺
3	高橋家庭園	大館市字谷地町8	個人

樹木の部

番号	指定樹	所在地	所有者等
1	浄心寺の枝垂桜	大館市字大館5	(宗)浄心寺
2	有浦観音堂の銀杏	大館市有浦四丁目131-4	(宗)大館神明社
3	信正寺の銀杏	大館市花岡町字七ツ館25	(宗)信正寺
4	大国主神社の杉	大館市花岡町字繫沢	繫沢集落
5	別所大日神社の三本マツカの杉	大館市十二所字堂ヶ下	別所大日神社
6	吉成家の樅	大館市十二所字上城7	個人

7. 芸術文化、文化財保護関係団体

(1) 大館市芸術文化連盟

目的：芸術文化の興隆と拡大に努め、もって地方文化の振興に寄与する。

事業：芸術文化の普及振興

加盟団体の交流及び活動助成

各種芸術文化事業の開催

伝統芸術文化に関する調査研究

芸術文化に関する個人及び団体の表彰

加入団体：27団体

(2) 公益社団法人 秋田犬保存会

目的：秋田犬の保護、育成、宣伝に努める。

事業：秋田犬に関する犬籍、犬舎号の登録及び血統書の発行

秋田犬に関する全国展、総支部展、支部展、観賞会、研修会

会報「秋田犬」の発行

観光行事等への参加

会員数：3,239人

(3) 大館市文化財保護協会

目的：大館市内にある文化財の保護活用の健全な振興をはかるとともに、文化財、歴史資料の調査研究を行い、もって市民の文化的向上に資する。

事業：文化財の保護顕彰に関すること

文化財及び資料の調査研究

資料の作成並びに頒布、紹介

講演会、研修会、文化財展、現地見学等の開催

会員数：32人

(4) 秋田県声良鶏比内鶏金八鶏保存会

目的：秋田三鶏の保護、育成、宣伝に努める。

事業：秋田三鶏の種の保存、育雛

展示会、謡い合わせ会の開催

(5) 大館市郷土芸能保存協会

目的：古くから伝わる芸能の保存育成について、関係団体機関が相互緊密な連絡を保ち、各保存会の振興を図り市の芸能文化並びに観光発展に寄与する。

事業：組織団体の連絡調整、演技後継者の育成指導、行事計画

加入団体：15団体

第7編 資 料

各種委員名簿

1. 大館市生涯学習推進協議会委員

(任期2年：令和5年7月1日～令和7年6月30日)

職名	氏名	役職又は団体、機関名
会長	阿部之義	大館市社会教育委員の会委員長
副会長	山城久和	大館市民交流センター運営委員会会長
委員	嶋田恵子	J Aあきた北女性部部长
	山崎正裕	秋田職業能力開発短期大学校能力開発部長
	加藤長幸	大館市校長会(大館市立早口小学校校長)
	野村裕子	大館市生涯学習奨励員協議会会長
	仲谷博志	(株)北鹿新聞社編集局長
	平川幸恵	大館市図書館協議会委員長
	五十嵐芳子	大館市連合婦人会真中婦人会会長
	虻川洋行	大館商工会議所青年部副会長
	青柳正隆	(一財)大館市スポーツ協会会長
	阿部伊之助	大館市老人クラブ連合会副会長
	中田善英	秋田県高等学校長協会東北支部会員(大館桂桜高等学校校長)
	田村健	大館市小・中学校PTA連絡協議会会長
	月居裕二	大館市私立学校協議会会長
	斉藤留美子	大館まちづくり協議会会長
佐藤勇一	秋田県立大館少年自然の家所長	

2. 大館市生涯学習奨励員協議会委員

(任期2年：令和5年4月1日～令和7年3月31日)

職名	氏名	奨励内容	選出区域
会長	野村 裕子	学校正課クラブ講師として絵手紙・生け花指導 他	下川沿
副会長	小笠原 哲子	藤工芸、手芸、公民館事業協力	比内
	田口 諒也	音楽療法士	中央
委員	片岡 真理子	英会話	中央
	木村 治	青年会活動経験を生かした地域活動、行事企画・協力	釈迦内
	岩澤 トシ子	婦人会、地域行事企画・協力	釈迦内
	佐藤 公子	読書、地域活動、公民館事業協力	長木
	本多 留美子	パッチワーク、料理	上川沿
	富樫 あけみ	婦人会、地域活動、公民館事業協力	真中
	安達 妙子	絵手紙、手芸	二井田
	畠山 直美	生け花教室・サークル活動、公民館・地域行事協力	十二所
	田中 清美	子ども会育成連合会・公民館・地域行事企画・協力	花岡
	山内 トシ	書道、合唱、公民館、地域行事協力	矢立
	高松 順子	コーラス、地域活動、公民館事業協力	比内
	大野 美佐子	ハーモニカ演奏・指導、ピアノ演奏	比内
	仙臺 要	歌・ダンス・YOGAサークル等の指導 他	比内
	奈良 一博	スポーツの普及、公民館事業協力	比内
	佐藤 信博	郷土史研究、音楽サークル指導	田代
柳谷 公子	小学校後援会、地域活動協力	田代	
田村 美知子	插花、書道、茶道	田代	
工藤 忍	書道、公民館事業協力	田代	

3. 大館市社会教育委員

(任期2年：令和5年4月1日～令和7年3月31日)

職名	氏名	委員歴	備考
委員長	阿部 之義	平成17年度～	
副委員長	越前 貞久	平成27年度～	
委員	山城 久和	令和3年6月～	
	佐藤 潔	令和4年度～	
	佐藤 健	令和6年度～	
	布袋屋 美幸	令和5年度～	
	戸田 由美子	平成29年度～	
	畠山 教子	令和3年度～	
	小笠原 豊	平成17年度～	
	片岡 精子	平成29年度～	

4. 大館市青少年問題協議会委員

(任期2年：令和6年6月1日～令和8年5月31日)

職名	氏名	区分	役職又は団体、機関名	連絡先
会長	佐藤 照雄	関係団体	青少年育成大館市民会議会長	
副会長	阿部 之義	学識経験者	大館市社会教育委員の会委員長	
委員	富樫 照幸	関係行政機関職員	大館市福祉部子ども課課長	
	高橋 秀一		大館市少年相談センター相談専門員兼所長	42-0769 (少年相談センター)
	伊東 篤	関係団体	大館地区少年保護育成委員会会長	
	小林 匡俊		比内地区少年保護育成委員会会長	
	木村 健一		大館市防犯協会会長	
	田村 健		大館市小・中学校PTA連絡協議会会長	
	田中 清美		大館市子ども会育成連合会会長	
	米澤 秀則		大館市スポーツ少年団副本部長	
	伊多波 卓美		学識経験者	大館市校長会会長
	長谷部 芳孝	大館地区保護司会犯罪予防活動部長		
	山内 進	大館市民生委員児童委員協議会会長		
	奈良 一崇	大館・北秋田地域生徒指導研究推進協議会副会長		50-6090 (大館国際情報学院)
	田村 新一	大館市小・中学校生徒指導協議会会長		42-9761 (下川沿中学校)

5. 大館市少年相談センター運営協議会委員

(任期2年：令和5年4月1日～令和7年3月31日)

職名	氏名	役職又は団体、機関名
会長	佐藤 照雄	青少年育成大館市民会議会長
副会長	奈良 一崇	大館・北秋田地域生徒指導研究推進協議会副会長
委員	佐藤 有希子	大館警察署生活安全課主任専門官
	米澤 貴子	大館市教育委員会教育研究所所長
	富樫 照幸	大館市福祉部子ども課課長
	野村 裕子	大館地区少年保護育成委員会常任委員
	山内 進	大館市民生委員児童委員協議会会長
	田村 新一	大館市小・中学校生徒指導協議会会長
	田村 健	大館市小・中学校PTA連絡協議会会長

6. 大館市図書館協議会委員

(任期2年：令和5年4月1日～令和7年3月31日)

職名	氏名	職業又は団体、機関名	選出区域
委員長	平川幸恵	利用者代表	大館
副委員長	若宮司	比内公民館長	比内
委員	椿田利之	図書館後援会	大館
	池島未和	読み聞かせ会	大館
	櫻庭芳枝	大館国際情報学院高等学校教諭	大館
	瀬尾英子	利用者代表	花矢
	虻川麻里子	花岡小学校長	花矢
	中田麻紀子	利用者代表	比内
	伊藤智	扇田小学校長	比内
	柴田恵里子	田代地区利用者代表	田代
	高橋綾子	読み聞かせ会	田代

7. 大館市文化財保護審議会委員

(任期3年：令和6年4月1日～令和9年3月31日)

職名	氏名	役職又は団体、機関名
会長	神成幸忠	学識経験者(歴史・宗教)
副会長	小泉槇子	学識経験者(写真)
委員	澤田享	前 秋田公立美術大学教授(建造物)
	椿田利之	学識経験者(歴史)
	菊地卓弥	学識経験者(生物)
	山内俊隆	大館市郷土芸能保存協会(郷土芸能)
	桑名秀明	僧侶(歴史・宗教)
	佐藤和広	学識経験者(歴史)
	渡部均	秋田県立博物館 主査(兼)学芸主事(地質)
	加藤竜	秋田県立博物館 副主幹(考古)

8. 大館市文化財保護指導員

(任期3年：令和6年4月1日～令和9年3月31日)

氏名	職業又は団体、機関名
畠山充一	自営業
鷹嘴勇二	自営業
吹谷英雄	無職

9. 大館郷土博物館運営審議会委員

(任期3年：令和5年4月1日～令和8年3月31日)

職名	氏名	職業又は団体、機関名	主な活動分野
会長	松村 六也	蒼杉会会長	美術
副会長	高橋 昭悦	学識経験者	考古
委員	伊藤 郁夫	大館自然の会代表	自然
	日沼 素子	大館陶芸愛好会	工芸・社会教育
	桑名 秀明	刀剣協会会員	歴史・宗教
	小笠原 涉	大館まちづくり協議会	社会教育

10. 秋田三鶏記念館運営審議会委員

(任期3年：令和4年3月1日～令和7年2月28日)

職名	氏名	役職又は団体、機関名
会長	高橋 善之	大館市教育委員会教育長
副会長	関口 宣男	秋田県声良鶏比内鶏金八鶏保存会会長
委員	木村 勝広	大館商工会議所専務理事
	畠山 喜満	大館市観光協会専務理事
	成田 伸一	あきた北農業協同組合専務理事

11. 大館市民交流センター（旧大館市女性センター）運営委員会委員

(任期2年：令和6年5月1日～令和8年4月30日)

職名	氏名	区分	職業又は団体、機関名
会長	山城 久和	学識経験者	大館商工会議所副会頭
副会長	畠山 貴久	学識経験者	あきた北農業協同組合代表理事専務
委員	柏崎 勇人	学校教育関係者	元小学校長
	野村 裕子	社会教育関係者	大館市生涯学習奨励員協議会会長
	乳井 紀子	利用者代表	サークル利用者代表
	伊藤 さより	利用者代表	サークル利用者代表

12. 公民館運営審議会委員

(任期2年: 令和5年4月1日~令和7年3月31日)

館名	氏名	選出区分
中央公民館	小林 久美子	学校教育関係者
	齋藤 ひさ子	社会教育関係者
	齋藤 研太	学識経験者
	齋藤 治	社会教育関係者
	片岡 真理子	社会教育関係者
釈迦内公民館	佐々木 浩司	社会教育関係者
	日景 美喜子	家庭教育関係者
	木村 理子	社会教育関係者
	斎藤 義信	社会教育関係者
	石田 一雄	学識経験者
長木公民館	石田 康市郎	社会教育関係者
	太田 昇	社会教育関係者
	山内 カヅ子	家庭教育関係者
	佐藤 保子	社会教育関係者
	九嶋 光夫	社会教育関係者
上川沿公民館	戸田 由美子	社会教育関係者
	石垣 悟	社会教育関係者 (令和6年4月1日委嘱)
	藤原 和平	学校教育関係者
	関口 孝	社会教育関係者
	田中 真理子	学校教育関係者
下川沿公民館	小林 郁子	学識経験者
	佐藤 忠博	学識経験者
	松田 博樹	学識経験者
	池田 ヤヱ子	社会教育関係者
	桜井 純子	社会教育関係者
真中公民館	平泉 正彦	社会教育関係者
	菊地 久美子	社会教育関係者
	佐藤 伸雄	社会教育関係者
	和田 幸子	家庭教育関係者
	虻川 久樹	社会教育関係者
二井田公民館	因幡 正勝	社会教育関係者
	中村 勝則	社会教育関係者
	齋藤 敏之	家庭教育関係者
	安達 美智子	家庭教育関係者
	小畑 由美子	家庭教育関係者
十二所公民館	花田 一美	学識経験者
	前田 友恵	社会教育関係者
	千葉 誠	社会教育関係者
	佐々木 昇	学識経験者
	松中 寿野	社会教育関係者
花岡公民館	渡辺 一夫	学識経験者
	佐藤 裕子	家庭教育関係者
	工藤 廣子	学識経験者
	浅利 健一	学識経験者
	山本 朗	学識経験者
矢立公民館	山内 茂	家庭教育関係者
	畠澤 洋子	家庭教育関係者
	若狭 孝博	学識経験者
	若木 由紀夫	学校教育関係者
	成田 真紀子	社会教育関係者

館名	氏名	選出区分
比内公民館	仙臺 要	社会教育関係者
	長谷部 利江	家庭教育関係者
	日景 隆	学識経験者
	高橋 コト	家庭教育関係者
	本間 初	学識経験者
	畠山 雄幸	家庭教育関係者
	柴田 政範	学識経験者
田代公民館	阿部 重信	家庭教育関係者
	大川 美紀	社会教育関係者
	小林 秀文	社会教育関係者
	笹木 勝則	学識経験者
	吉田 里佳	学識経験者
	武石 久美子	社会教育関係者
	柳谷 公子	学識経験者

大館市生涯学習推進要綱

(目的)

第1条 この要綱は、こども・おとなが共に学び合うひとづくりをめざし、市民一人ひとりの生涯学習への意欲を高めるとともに、学習活動への参加を促進し、もって生涯学習の一層の推進を図るために必要な事項を定めるものとする。

(本部)

第2条 市の生涯学習を効果的に推進するため、大館市生涯学習推進本部（以下「本部」という。）を設置する。

2. 本部は、市民の意見や要望を取り入れ、市の各部・課の実施する学習的事業を総合的に連絡調整する。
3. 本部は、本部長、副本部長、参事及び幹事をもって構成する。
4. 本部長は、市長を充てる。
5. 副本部長は、副市長及び教育長を充てる。
6. 参事は、各部の部長を充てる。
7. 幹事及び推進担当者は、本部長が委嘱する。
8. 本部に、顧問を置くことができる。

(本部長等の職務)

第3条 本部長は、本部を統括する。

2. 副本部長は、本部長を助け、本部長に事故のあるときこれを代理する。
3. 参事は、生涯学習推進のため、総合的な施策について意見を述べるとともに、施策の総合調整に当たる。
4. 幹事は、生涯学習関連事業の連絡調整に当たる。

(推進協議会)

第4条 市民の意見、要望を反映させ、生涯学習の普及を図るため、生涯学習推進協議会（以下「推進協議会」という。）を置き、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 本部長の諮問に関すること。
 - (2) 生涯学習の奨励普及に関すること。
 - (3) その他生涯学習に関し必要なこと。
2. 推進協議会は、委員25名以内をもって組織し、学識経験者及び学習実践者その他関係機関の職員のうちから本部長が委嘱する。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2. 補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第6条 推進協議会に会長及び副会長を置く。

2. 会長及び副会長は、委員の互選によって決定する。
3. 会長は、推進協議会を代表し、会務を総理する。
4. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるときその職務を代理する。

(会議)

第7条 推進協議会は、会長が招集し、会議の議長となる。

(専門委員会)

第8条 生涯学習の内容を充実するため、生涯学習専門委員会(以下「専門委員会」という。)を置くことができる。

2. 専門委員は、生涯学習について専門的な知識経験を有する者のうちから本部長が委嘱する。
3. 専門委員会の正副会長の選任、会議については、前2条の規定を準用する。
4. 専門委員会は、次の事項について研究協議し、本部長に報告する。
 - (1) 本部長から諮問された課題の調査・研究
 - (2) 資料、情報の収集及び検討並びにこれら資料等の提供
 - (3) その他必要な事項

(事務局)

第9条 本部の事務局は、大館市教育委員会内に置き、事務局長、事務局次長、その他必要な職員を置くことができるものとし、おおむね次に掲げる事項を行う。

- (1) 総合的生涯学習推進計画の策定に関すること
- (2) 推進協議会、専門委員会等に関すること
- (3) 文書、予算及び決算に関すること
- (4) 広報活動に関すること
- (5) 各機関との連絡調整に関すること
- (6) その他生涯学習推進について必要な事項

(幹事会)

第10条 幹事会は事務局長が招集し、会議の議長となる。

2. 幹事会は次の事項について協議する。
 - (1) 各部・課の生涯学習関連事業の連絡調整及び事業の進行管理
 - (2) 生涯学習関連情報の収集及び交換
 - (3) その他生涯学習推進上の必要な事項

(推進担当者部会)

第11条 推進担当者部会は部会長が招集し、会議の議長となる。

2. 推進担当者は次の事項について協議し、その実施及び推進に当たる。
 - (1) 各課(所)等間の生涯学習関連施策、事業の連絡調整
 - (2) 生涯学習に関する調査・研究・関連情報の収集及び交換
 - (3) その他、生涯学習推進について必要な事項

(生涯学習奨励員)

第12条 市民の学習活動を奨励し、生涯学習の推進充実を図るため、生涯学習奨励員(以下「奨励員」という。)を置き、次の掲げる事項を行う。

- (1) 市民の学習意欲の喚起に努める
 - (2) 特技をとおして学習活動を援助する
 - (3) 学習希望者の組織化を援助する
 - (4) 学習上の相談に応ずる
 - (5) 学習情報及び資料を提供する
 - (6) その他学習に関し必要な事項
2. 奨励員は30名以内とし、奨励員として活躍が期待されるもののうちから本部長が委嘱する。
 3. 奨励員の任期は、第5条の規定を準用する。

「奨励員協議会」という。)を設置し、次に掲げる事項を行う。

(1) 奨励員の研修等の実施

(2) 奨励員の設置趣旨、役割、任務等の普及・遂行に務めるとともに、生涯学習推進関係機関・団体との連携を図る

(3) その他必要な事項

2. 奨励員協議会に正副会長を置き、選任及び会議については、第6条及び第7条の規定を準用する。

(補則)

第14条 この要綱の定めるもののほか必要な事項は、そのつど本部長が決定する。

附 則

(施行期日)

1. この要綱は、平成3年4月1日から施行する。

(要綱の廃止)

2. 大館市生涯教育推進本部要綱(昭和50年7月15日)は廃止する。

附 則 (平成9年12月15日改正)

この要綱は、平成10年1月1日から施行する。

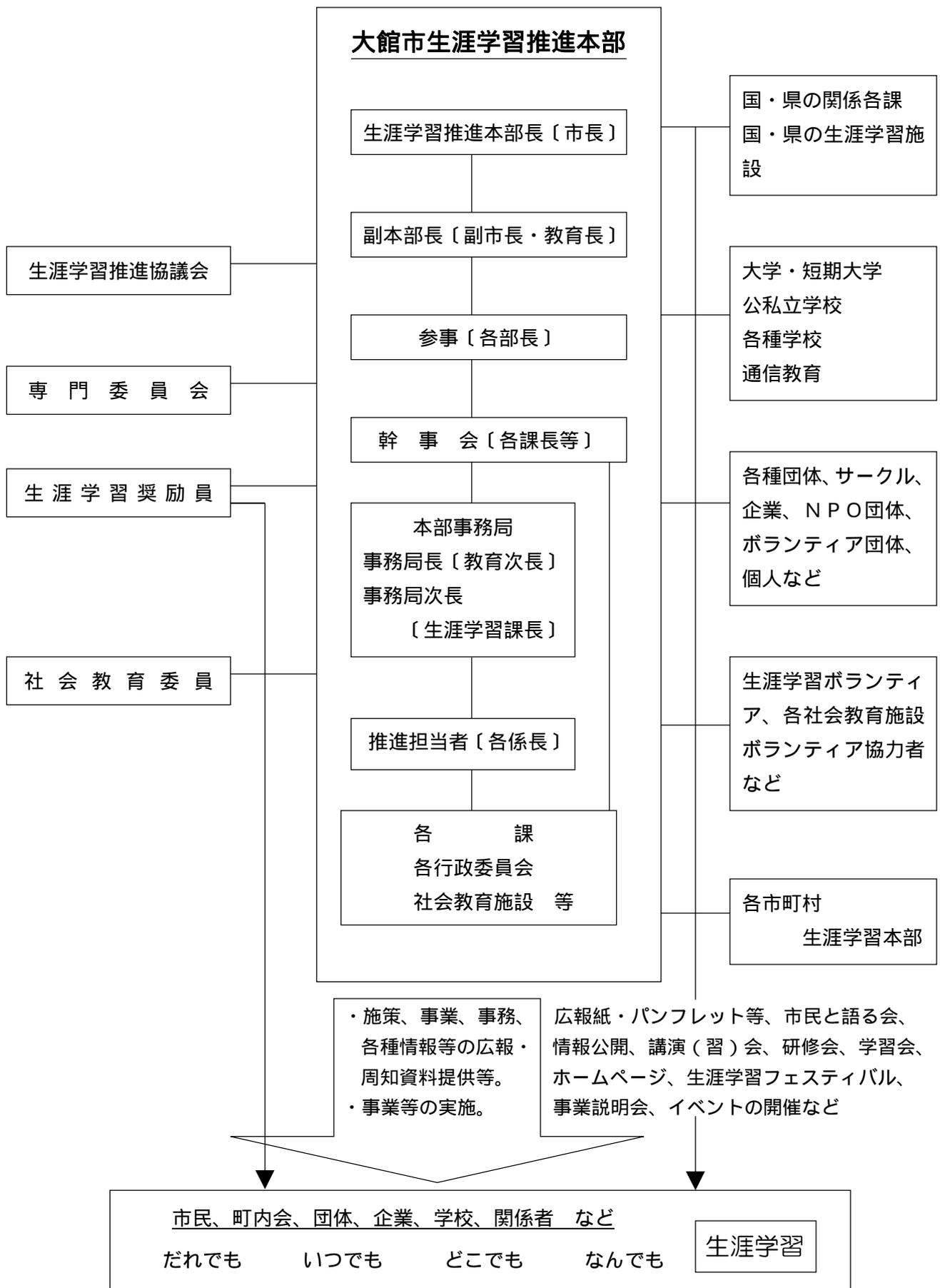
附 則 (平成23年5月1日改正)

この要綱は、平成23年5月1日から施行する。

附 則 (令和6年8月26日改正)

この要綱は、令和6年8月26日から施行する。

大館市生涯学習推進本部体制



令和 6 年度

大 館 市 教 育 要 覧

発 行 令和 6 年 8 月

発行責任者 大館市教育委員会 教育総務課

所 在 地 〒 018 3595
大館市早口字上野 43 番地 1

TEL 0186 43 7111 FAX 0186 54 6100